Pioneer

DVD プレーヤー

DV-S6D

取扱説明書

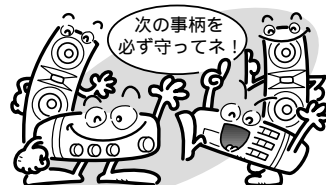
CHAPTER 1 お使いになる前に

安全に正しくお使いいただくために

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機ご使用の前に最後までお読みください。
お読みになった後は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に保管してください。使用中にわからないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

安全に正しくお使いいただくために、必ずお守りください

●ご使用の前にこの取扱説明書および別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この取扱説明書、別冊の「安全上のご注意」および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

安全上のご注意（別冊の「安全上のご注意」もお読みください）

警告

異常時の処置

・万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

・万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

・万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

目次

こんなことができます

主な特長

●ドルビーデジタル*／DTSデコーダー内蔵の高音質オーディオシステム**

DOLBY DIGITAL

本機はDVDの高音質を再生可能にする96kHzサンプリング／24bitのDAC(デジタル/アナログコンバーター)を採用しています注1)。
5.1チャンネルアナログ音声出力端子を装備し、さらにドルビーデジタルデコーダーとDTSデコーダーを内蔵しています。5.1チャンネル音声入力端子を持ったAVアンプなどと接続して映画館のような臨場感ある音声をお楽しみいただけます(17ページ)。

●バーチャルドルビーデジタル機能を搭載

TruSurround™

SRS TruSurround***方式により、5.1チャンネルのデジタル音声データをダイレクトに処理するバーチャルドルビーデジタル機能を搭載しています。2つのスピーカーだけでもドルビーデジタル5.1チャンネル音声の臨場感ある音声をお楽しみいただけます(53ページ)。

●新開発DNR内蔵ビデオエンコーダーを採用

高画質DNR(デジタル・ビデオ・ノイズリダクション)内蔵のビデオエンコーダー(VQE：Video Quarity Enhancer)を採用し、きめ細かな画質調整を自動的に行います。3種類の画質設定(標準、スポーツ、アート)を選択することができ、さらにお好みに調整した画質を記憶することができます。
暗い部分の明るさを調整できるガンマ機能も内蔵しています。
また映像出力端子(2系統)、S映像出力端子(2系統)、DVD本来の高画質を引き出すコンポーネント映像出力端子(1系統)を装備しています。

注1)：96kHz／24ビットのダイレクト出力音声を楽しむには別途対応アンプ／DACや光デジタルケーブルなどが必要です。
*　ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY、AC-3、プロロジック及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。未公開著作物。著作権 1992-1997年ドルビーラボラトリーズインコーポレーティド。不許複製。
**　DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc. からの実施権に基づき製造されています。
***　TruSurroundと(●)記号は米国と選択された諸外国におけるSRS Labs, Inc. の商標です。
TruSurround技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスにより製品化されています。

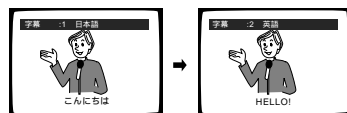
●新開発セットアップナビゲーション付きGUI

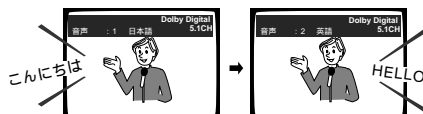
複雑な設定を画面に表示される質問に答えていくだけで簡単に設定できるセットアップナビゲーター機能を搭載しています。お手持ちのテレビやAVアンプなどに最適な設定を簡単に行うことができます(19ページ)。
また初期設定の種類は、簡単な設定を行う「ベーシック」とより詳細な設定を行う「エキスパート」の2種類から選択することができます(49ページ)。

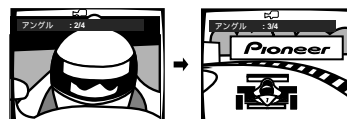
●充実した特殊再生

本機ではDVDやビデオCDの再生速度を様々に変えることができます。前方向、逆方向のスロー再生、高速再生(スキャン)、コマ送り再生をスムーズな映像でお楽しみいただけます。
マルチダイヤルを使うと1/16倍速のスロー再生から高速再生(スキャン)まですばやく変えることができます(30ページ)。

●お好みの字幕言語が選択できます

DVDに収録された複数の字幕言語から、お好きな字幕を選択することができます(43ページ)。

●お好みの音声言語が選択できます

DVDに収録された複数の音声言語から、お好きな言語を選択することができます(43ページ)。

●お好みのアングルが選択できます

DVDに収録された複数のアングルから、お好きなアングルを選択することができます(40ページ)。

●省エネルギー設計

本製品は待機時消費電力を0.5Wに抑えた設計になっています。

本機の取り扱いのご注意

■ 再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

■ 本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに ⏻ スタンバイ／オンボタンを押して、表示窓の「-OFF-」表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合せて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■ 次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

■ 上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

■ 熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

■ ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ラックのガラスドアを閉めたままリモコンのオープン／クローズ(▲)ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

■ 本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5〜6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

本機で再生できるディスクの種類

●本機は下表のディスクをアダプターなしで、再生することができます。
●下表に表示されているマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。
●本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
DVDビデオ	DVDビデオ	(MPEG 2方式)
	12cm/片面　1層	133分
	2層	242分
	12cm/両面　1層	266分
	2層	484分
	DVDビデオ	(MPEG 2方式)
	8cm/片面　1層	41分
	2層	75分
	8cm/両面　1層	82分
	2層	150分
ビデオCD	ビデオCD 12cm/片面	(MPEG 1方式) 74分
	ビデオCDシングル 8cm/片面	(MPEG 1方式) 20分
CD	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分
F-Disc(エフディスク)*	DVDビデオ 12cm/片面	66分

*(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです(38ページ)。

・下記のディスクは再生できません。
DVD オーディオ、DVD-ROM、CD-ROM、リージョン No.(72 ページ)が本機と異なる DVD など。
・8cmアダプター(CD用)は使わないでください。

■ DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表わしています。

マーク	意味
2	音声の数を表わします。
2	字幕言語の数を表わします。
3	アングル数を表わします。
16:9 LB	選択可能な画像アスペクト比を表わします。
2 / ALL	再生可能な地域番号を表わします。本機は地域番号「2」が含まれているディスク、または「ALL」と表記されたディスクの再生ができます。

■ ディスクの操作について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスク禁止マーク」を表示します。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、リピートやプログラムなどの一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止マーク」を表示します。

ディスク禁止マーク

プレーヤーによる禁止マーク

■ ディスクの構成について

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう1つの映画が1つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは1曲が1タイトルとなっています。ただしこのような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能やプログラム機能を使用する際はご注意ください。

タイトル1　タイトル2
チャプター1　チャプター2　チャプター1　チャプター2

DVD

CDやビデオCDではディスクをトラックという単位で分けています(一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。またさらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります)。

トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5

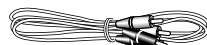
CD

トラック1　トラック2　トラック3　トラック4

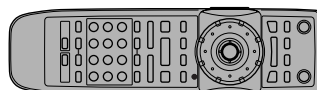
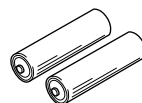
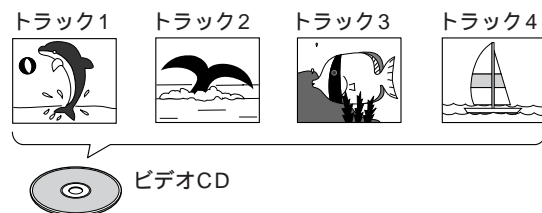
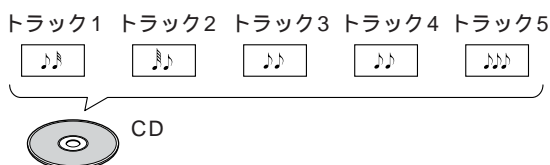
ビデオCD

付属品の確認

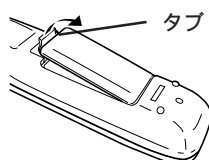
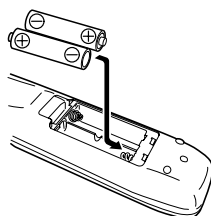
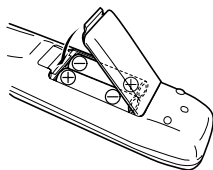
箱から出したら次の付属品がそろっているかを確認してください。

・音声ケーブル

・映像ケーブル

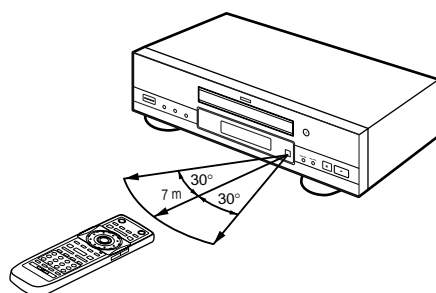
・電源コード

・リモートコントロールユニット

・単3形乾電池(R6P・2本)

・保証書
・安全上のご注意
・ご相談窓口・修理窓口のご案内
・取扱説明書(本書)

リモコンの準備

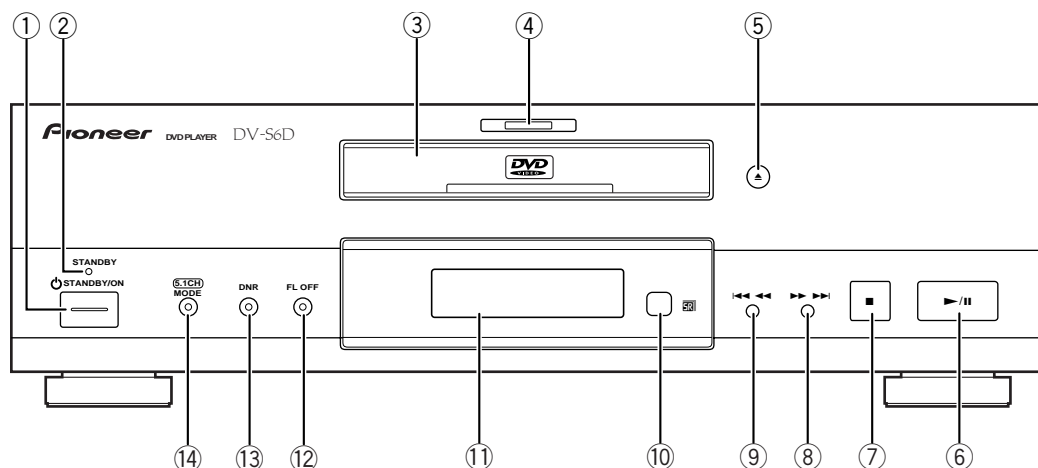
リモコンに乾電池を入れる

1 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開きます

2 ケース内に表記されている極性⊕(プラス)／⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れます

3 フタを矢印の方向に閉めます

・新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
・乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
・長い間（1ヵ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使用範囲

・リモコンはプレーヤー本体前面部のリモコン受光部に向けて操作します。プレーヤーからリモコンの距離は約7m、またリモコン受光部を基準にして左右30°までの範囲で操作できます。
・後面のコントロール入力端子が他の機器に接続されているとき（11ページ）は、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください。本機に向けては操作できません。

リモコン受光部に直接日光や強い光をあてないようにしてください。誤動作の原因となります。

各部の名称とはたらき

本体正面

① ⏻ **スタンバイ／オンボタン**
電源をオン/オフします（23、26ページ）。

② **スタンバイインジケーター**
電源が入ると消灯します。電源が待機状態になると点灯します。

③ **ディスクテーブル**
ディスクを出し入れするときに、⑤オープン／クローズ（▲）ボタンで開閉します（23、26ページ）。

④ **ディスクイルミネーション**
DVDを再生したとき点灯します。DVD以外のディスクを再生したときは点灯しません。

⑤ **オープン／クローズ（▲）ボタン**
ディスクテーブルを開閉するときに押します（23、26ページ）。

⑥ **再生／一時停止（►／II）ボタン**
ディスクを再生します（23ページ）。
再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します（32ページ）。もう一度押すと再生を再開します。

⑦ **停止（■）ボタン**
ディスクの再生を止めます（26ページ）。

⑧ **スキャン／次（►► ►►I）ボタン**
映像や音声を早送り、または頭出しをします（25ページ）。

⑨ **スキャン／前（I◄◄ ◄◄）ボタン**
映像や音声を早戻し、または頭出しをします（25ページ）。

⑩ **リモコン受光部**
リモコンの信号を受けます（8ページ）。

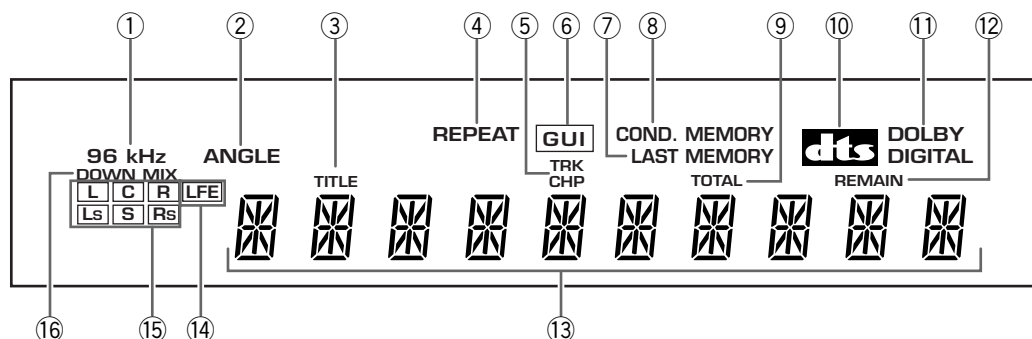
⑪ **表示窓**
本機の動作状況を表示します（10ページ）。

⑫ **FL OFFインジケーター**
表示部を消灯すると点灯します。

⑬ **DNRインジケーター**
DNR機能（デジタル・ビデオ・ノイズリダクション）が働いているとき点灯します（29ページ）。

⑭ **5.1CH MODEインジケーター**
音声出力を5.1チャンネルに設定すると点灯します（20、55ページ）。

各部の名称とはたらき

本体表示窓

① **96 kHz**
96 kHzリニアPCM音声で収録されているDVDを再生しているとき点灯します。

② **ANGLE**
DVDを再生しているとき、アングル変更が可能な場面で点灯します(40 ページ)。

③ **TITLE**
タイトル番号が表示されているとき点灯します(DVDのみ)。

④ **REPEAT**
リピート再生中に点灯します(33ページ)。

⑤ **TRK/CHP**
トラックまたはチャプター番号が表示されているとき点灯します。

⑥ **GUI**
初期設定画面が表示されているとき点灯します(48 ページ)。

⑦ **LAST MEMORY**
ラストメモリー機能が働いているとき点灯します(39ページ)。

⑧ **COND. MEMORY**
コンディションメモリー機能が働いているとき点灯します(40 ページ)。

⑨ **TOTAL**
タイトル、チャプターまたはトラックの総再生時間が表示されているときに点灯します(46、47 ページ)。

⑩ **DTS**
DTS音声で収録されているDVDを再生しているとき点灯します。

⑪ **DOLBY DIGITAL**
ドルビーデジタル音声で収録されているDVDを再生しているとき点灯します。

⑫ **REMAIN**
タイトル、チャプターまたはトラックの残り再生時間が表示されているとき点灯します(46、47 ページ)。

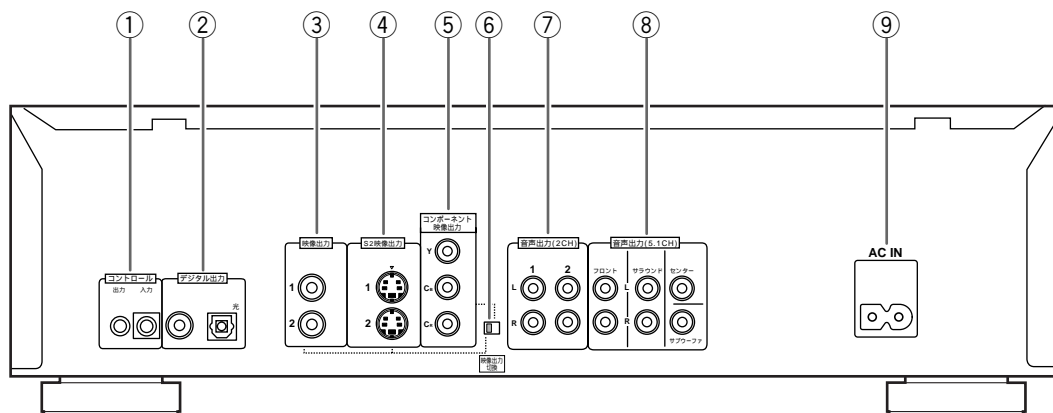
⑬ **カウンター表示**
再生モード、ディスクの種類、タイトル、チャプター、トラック番号、経過時間などを表示します。

⑭ **LFE**
再生されているDVDの音声にLFE(Low Frequency Effect=超低音の効果音)が含まれていると点灯します。

⑮ **プログラムフォーマットインジケーター**
再生しているDVDに収録されている音声チャンネルに対応するインジケー ターが点灯します。
L ：左フロントチャンネル *1 *2
C ：センターチャンネル *1
R ：右フロントチャンネル *1 *2
LS ：左サラウンドチャンネル *1
S ：サラウンドチャンネル(モノラル) *2
RS ：右サラウンドチャンネル *1

*1 ドルビーデジタル5.1チャンネルで収録されたDVDを再生しているときに点灯
*2 ドルビーサラウンドで収録されたDVDを再生しているときに点灯

⑯ **DOWN MIX**
ドルビーデジタルやDTSなどのマルチチャンネル音声をダウンミックス(チャンネル変換)しているとき点灯します。 例えば5.1チャンネル音声を2チャンネル音声に変換しているとき点灯します。

本体後面

① **コントロール入力／出力端子**
SRマークの付いたパイオニア製AVアンプなどにつないで、AVアンプなどのリモコンで本機を操作できます。市販のミニプラグ付きケーブル（抵抗なし、3.5∅）を使って、本機のコントロール入力端子とAVアンプなどのコントロール出力端子を接続します。

お知らせ

- **システムコントロールする場合は、市販のミニプラグ付きケーブル以外に必ずデジタル（同軸）ケーブル、アナログ音声ケーブル、映像ケーブルのいずれかを使って接続してください。**
- SRマーク付きのAVアンプなどとつないだときは、つないだ機器（AVアンプなど）にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けて操作することはできません。
- SRマークのない機器やパイオニア以外の製品とは、システムコントロール接続はできません。

② **デジタル出力（同軸／光）端子**
デジタル出力端子のあるアンプなどと接続するときに、同軸または光デジタルケーブルを使って接続します（16ページ）。

③ **映像出力端子**
テレビまたはAVアンプなどと接続するときに、付属の映像ケーブルを使って接続します。この端子を使用するとき、⑥映像出力切換スイッチは左側にします（14、18ページ）。

④ **S2映像出力端子**
S映像入力端子のあるテレビまたはAVアンプなどとと接続するときに、市販のS映像ケーブルを使って接続します。本機のS映像出力端子はS2対応です。この端子を使用するとき、⑥映像出力切換スイッチは左側にします（18ページ）。

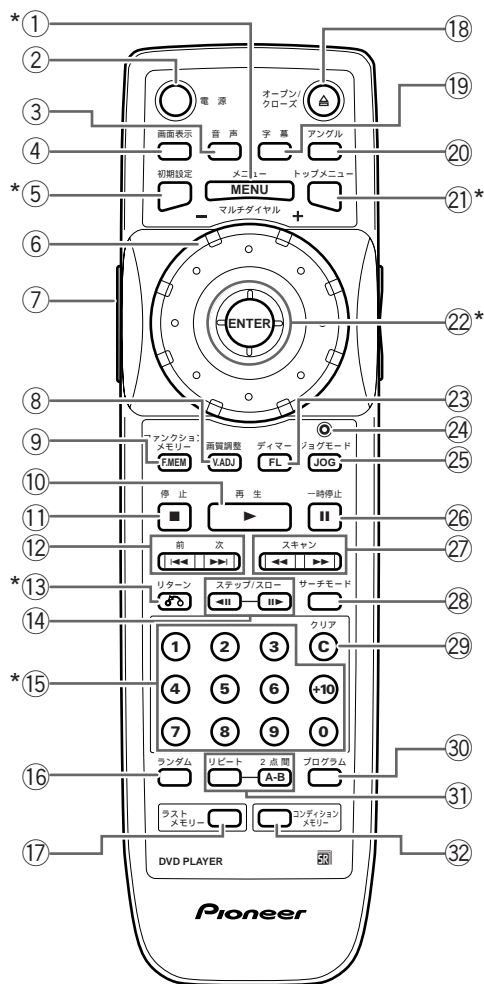
⑤ **コンポーネント映像出力（Y/CB/CR）端子**
コンポーネント（Y/CB/CR）映像入力端子のあるテレビまたはプロジェクターなどと接続するときに、市販のコンポーネント映像ケーブルまたは映像ケーブルを使って接続します。この端子を使用するとき、⑥映像出力切換スイッチは右側にします（18ページ）。

⑥ **映像出力切換スイッチ**
ご使用になる映像出力端子（③映像出力端子、④S2映像出力端子、または⑤コンポーネント映像出力端子）を切り換えます（18ページ）。

⑦ **音声出力(2CH)端子**
2チャンネルのステレオアンプまたはテレビなどと接続するときに、付属の音声ケーブルを使って接続します（14、17ページ）。

⑧ **音声出力(5.1CH)端子**
5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプと接続するときに、市販の音声ケーブルを使って接続します（17ページ）。

⑨ **電源コード接続端子**
付属の電源コードを接続して、壁のコンセントから電源を供給します（14、15ページ）。

リモコン

*マーク付きのボタンはメニュー画面の操作に使います。

***① メニューボタン**
DVDソフトのメニュー画面を表示します(24ページ)。

② 電源ボタン
電源をオン／オフします(23、26ページ)。

③ 音声ボタン
言語または音声を切り換えます(43、44ページ)。

④ 画面表示ボタン
ディスクの情報を表示します(45ページ)。

***⑤ 初期設定ボタン**
初期設定画面を表示します(48ページ)。

⑥ マルチダイヤル
スロー再生、スキャン、コマ送り再生などの特殊再生に使用します(30、31ページ)。

⑦ ライティングボタン
7つのボタン(⑧、⑨、⑩、⑪、㉓、㉕、㉖)を約3秒間点灯させます。暗い部屋などでお使いのとき便利です。

⑧ 画質調整ボタン
再生するディスクの内容に合わせて、画質の設定を標準、スポーツ、アートの中から選ぶことができます。また、お好みの画質に調整して、その設定を記憶することができます(28ページ)。

⑨ ファンクションメモリーボタン
初期設定画面の設定項目の中で、よく変更する項目を記憶することができます(67ページ)。

⑩ **再生(►)ボタン**
ディスクの再生を開始します(23ページ)。

⑪ **停止(■)ボタン**
ディスクの再生を止めます(26ページ)。

⑫ **前(⏮)／次(⏭)ボタン**
場面や曲の頭出しをします(25ページ)。

*⑬ **リターンボタン**
初期設定画面やメニュー画面が表示されているとき押すと1つ前の項目に戻ります(48ページ)。

⑭ **ステップ／スロー(◄II／II►)ボタン**
◄II：一度押すとコマ戻し再生します。
押し続けると逆方向にスロー再生します(32ページ)。
II►：一度押すとコマ送り再生します。
押し続けると前方向にスロー再生します(32ページ)。

*⑮ **数字ボタン**
見たい／聞きたい場所を探すとき、音声や字幕を選ぶとき、またはメニュー画面で項目を選ぶときなどに使います(27ページ)。

⑯ **ランダムボタン**
DVDではタイトルやチャプター、ビデオCDまたはCDではトラックを順不同に再生します(34ページ)。

⑰ **ラストメモリーボタン**
つづきから見たい場所を記憶したり、呼び出したりします(39ページ)。

⑱ **オープン／クローズボタン**
ディスクテーブルを開閉するときに押します(23、26ページ)。

⑲ **字幕ボタン**
DVDの字幕言語を切り換えます(43ページ)。

⑳ **アングルボタン**
DVDのアングルを切り換えます(40ページ)。

*㉑ **トップメニューボタン**
DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示します(24ページ)。

*㉒ **ジョイスティック／ENTERボタン**
設定項目を選択するときカーソルを上下左右に動かします。押すと、選択した項目を決定します。

㉓ **ディマーボタン**
本体表示窓の明るさを調整します。消灯から通常点灯まで明るさを4段階に切り換えられます。表示窓を消灯すると、FL OFFインジケーターが点灯します。

㉔ **ジョグモードインジケーター**
マルチダイヤルの機能がコマ送りになっているとき点灯します(31ページ)。

㉕ **ジョグモードボタン**
マルチダイヤルの機能をスロー/スキャンからコマ送りに切り換えます。マルチダイヤルを使ってコマ送り再生ができます(31ページ)。

㉖ **一時停止(II)ボタン**
映像や音声を再生中に押すと、映像が静止画になり、音声が一時停止します。もう一度押すと再生を再開します(32ページ)。

㉗ **スキャン(◄◄/►►)ボタン**
映像や音声の早送り／早戻しをします(25ページ)。
◄◄：早戻し方向
►►：早送り方向

㉘ **サーチモードボタン**
サーチの種類を選ぶときに押します(27ページ)。

㉙ **クリアボタン**
リピート再生、ランダム再生、プログラム再生で設定した内容を取り消します(33〜38ページ)。

㉚ **プログラムボタン**
DVDではタイトルやチャプター、ビデオCDまたはCDではトラック番号をプログラムして好きな順に再生します(35ページ)。

㉛ **リピートボタン**
DVDではタイトルやチャプターを繰り返し再生します(33ページ)。
ビデオCD、またはCDではトラックやディスク全体を繰り返し再生します(33ページ)。

㉜ **コンディションメモリーボタン**
DVDの設定を記憶します(40ページ)。

テレビとつなぐ

テレビの電源を「オフ」にし、コンセントから電源コードを抜いてください。

1 映像出力切換スイッチを左側にします。

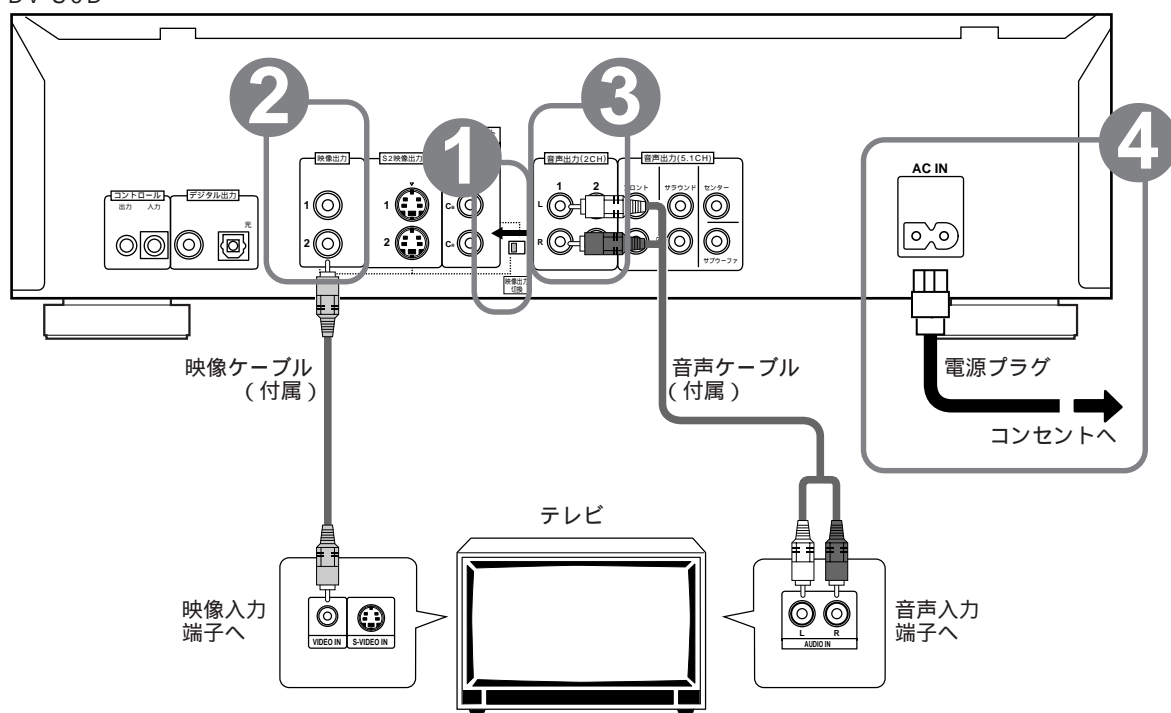
2 付属の映像ケーブルをつなぎます。

3 付属の音声ケーブルをつなぎます。

L（白色）端子には白色のプラグを、R（赤色）端子には赤色のプラグをつなぎます。

4 付属の電源コードをコンセントへつなぎます。

テレビの電源コードをコンセントにつなぎます。
つなぎ終わったら、「セットアップナビゲーター」を使って本機の設定を行ってください（19ページ）。

DV-S6D

お知らせ

本機の映像出力は、直接テレビにつないでください。

本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができない場合があります。

AV機器とつなぐ（接続例）

テレビやAVアンプの電源を「オフ」にし、コンセントから電源コードを抜いてください。

1 映像出力切換スイッチを切り換えます。

付属の映像ケーブル、S映像ケーブルでつなぐときは左側、コンポーネント映像ケーブルでつなぐときは右側にします。

2 映像ケーブルをつなぎます。

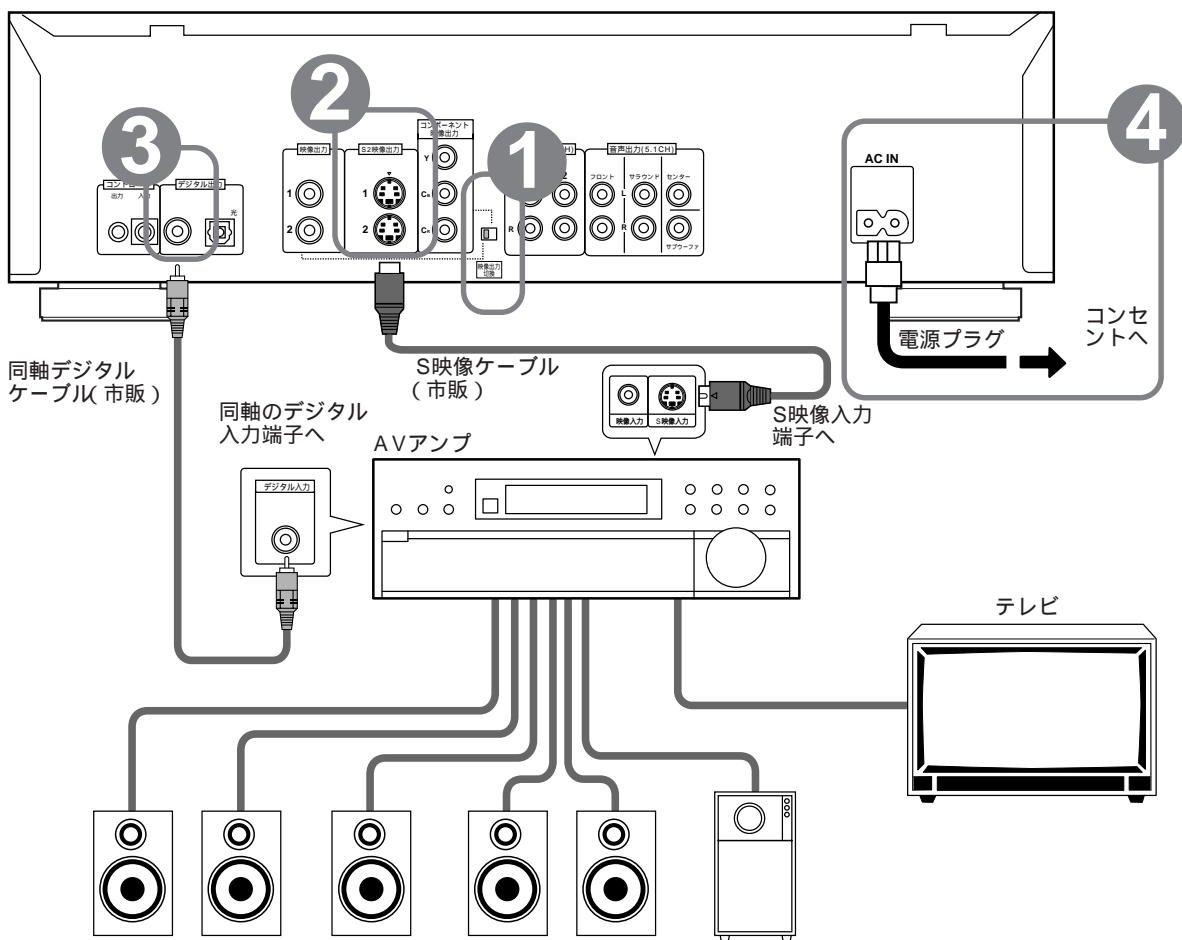
18ページをご覧ください。

3 音声ケーブルをつなぎます。

次のページをご覧ください。

4 付属の電源コードをコンセントへつなぎます。

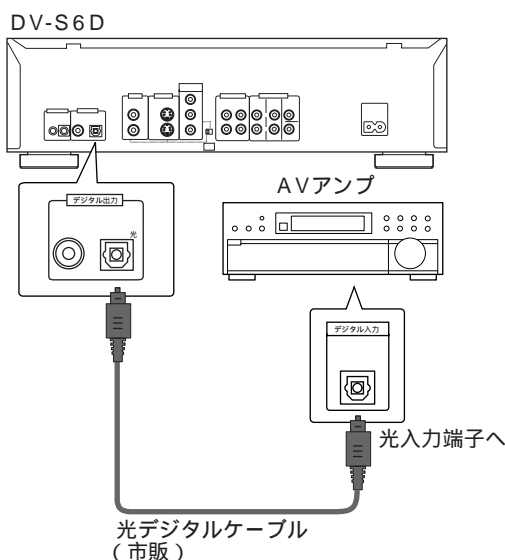
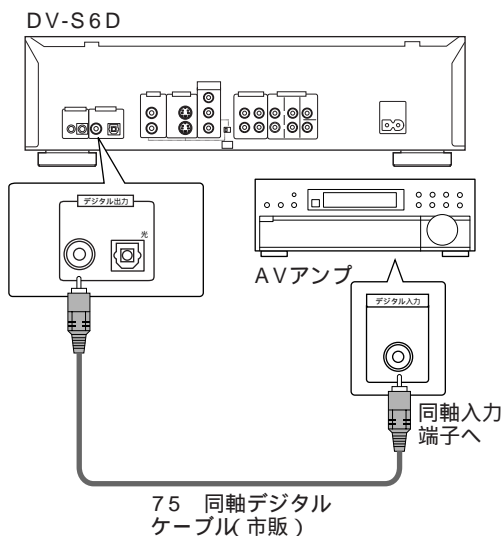
テレビやAVアンプの電源コードをコンセントにつなぎます。
つなぎ終わったら、「セットアップナビゲーター」を使って本機の設定を行ってください（19ページ）。

DV-S6D

音声ケーブルのつなぎかたを選ぶ

以下の 4 つのうち、どれか 1 つ接続すれば音声が出力されます。

市販のデジタル音声ケーブルでつなぐとき

本機はドルビーデジタル、DTS、MPEGなどのデジタル音声をデジタル入力に対応したAVアンプ（各デコーダー内蔵アンプまたはデコーダー）とデジタル音声ケーブルでつなぐことにより、迫力あるデジタルサウンドをお楽しみいただけます。

市販の光デジタルケーブルでつなぐとき

市販の同軸デジタルケーブルでつなぐとき

お知らせ

デジタル音声で出力するとき

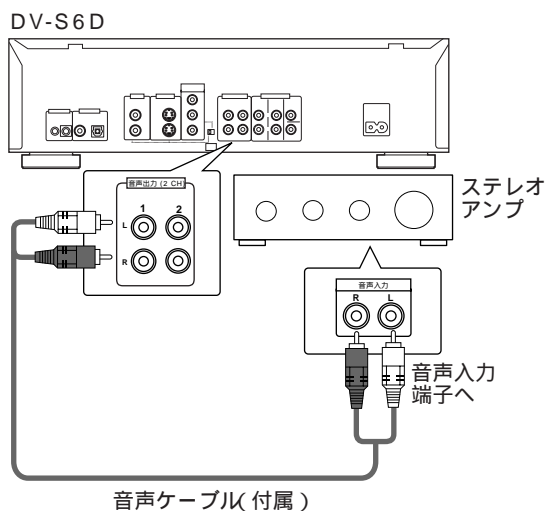
- パイオニア製のアンプ VSA-D10TX、VSA-D8TX、VSA-D6をお使いのかたは、デジタル音声ケーブルの接続をおすすめします。
- MD、CD-R（CD レコーダー）、DAT などのデジタル録音対応機器で、デジタル録音をするときもこの接続方法をおすすめします。

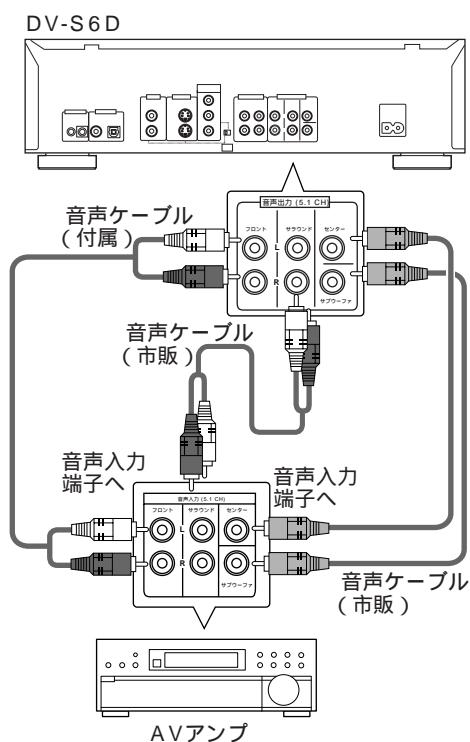
ドルビーデジタル／ DTS の 5.1 チャンネルを楽しむには

- ドルビーデジタル／ DTS の 5.1 チャンネル音声をお楽しみいただくためには、ドルビーデジタル／ DTS デコーダー内蔵 AV アンプなどのほか、5 チャンネルスピーカー（フロント左右／センター／サラウンド左右）＋サブウーファーが別途必要になります。

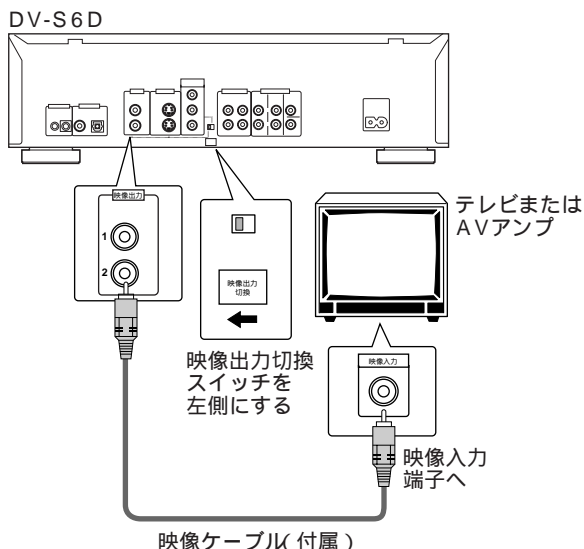
アナログ音声ケーブルでつなぐとき

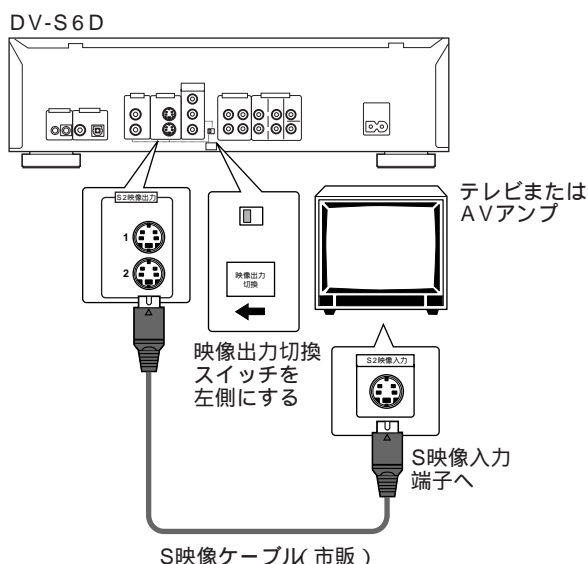
2 チャンネル接続

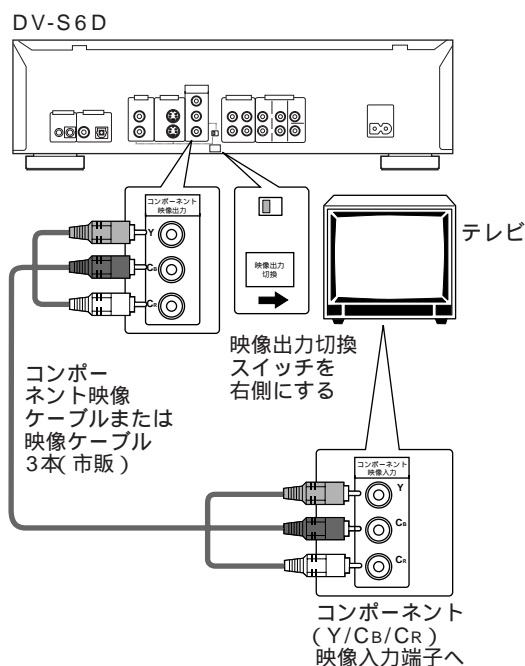
この接続をしたときは、20ページの［アンプとの接続］を［2チャンネル］に設定してください。

5.1 チャンネル接続

本機は、ドルビーデジタル／DTSデコーダーを内蔵しています。5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプに接続します。この接続をしたときは、20ページの［アンプとの接続］を［5.1チャンネル］に設定してください。

映像ケーブルのつなぎかたを選ぶ

以下の 3 つのうち、どれか 1 つ接続すれば映像が出力されます。

付属の映像ケーブルでつなぐとき

市販の S 映像ケーブルでつなぐとき

お使いのテレビやAVアンプなどにS（またはS2)映像入力端子があるときは、このつなぎ方をおすすめいたします。付属の映像ケーブルを使った接続より、高品位な映像がお楽しみいただけます。

市販のコンポーネント映像ケーブルでつなぐとき

お使いのテレビなどにコンポーネント（Y/CB/CR)映像入力端子があるときは、このつなぎかたをおすすめします。本機の高品位な映像品質を楽しむには、もっとも適したつなぎかたです。

お知らせ

・ハイビジョン対応のコンポーネント（Y/PB/PR）映像入力端子につなぐことはできません。

本機の映像出力は、ビデオデッキにはつながないでください。

・本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができない場合があります。

「セットアップナビゲーター」を使って設定する

「セットアップナビゲーター」により対話形式で本機の設定を行います。表示される質問に答えていくと、本機の設定が自動的に完了します。セットアップナビゲーターを開始すると以下の順に質問されます。

言語（画面表示言語）➡　テレビとの接続（テレビの種類）➡　アンプとの接続

この機能は、再生中にはできません。

1 電源ボタンを押します。

2 停止中に初期設定ボタンを押します。

セットアップナビゲーター画面が自動的に表示されます。

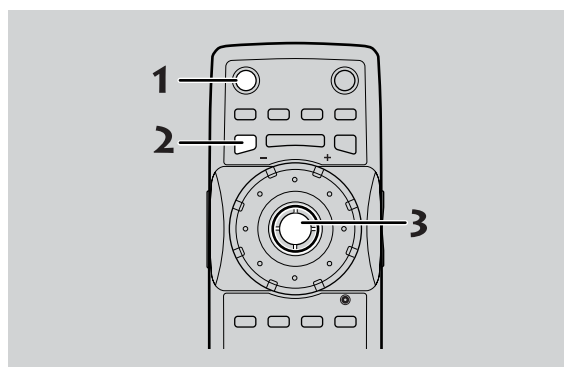
開始　：セットアップナビゲーターを開始するとき選択します。

使わない　：セットアップナビゲーターを使わないとき選択します。個別に設定するには［いろいろな設定］（48～68ページ）をご覧ください。

3 ENTERボタンを押します。

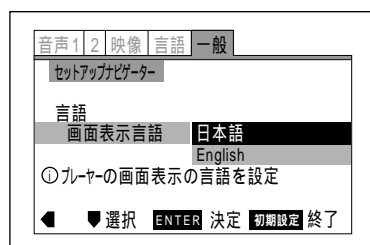
セットアップナビゲーターが開始します。

お知らせ

- ⓘマークは情報（information)を意味しています。画面に簡単な説明が表示されますので、設定内容がわからない場合は参考にしてください。
- 「使わない」を選ぶと次回から初期設定ボタンを押してもセットアップナビゲーターの画面は出なくなります。

設定の途中で前の設定画面に戻るには

ジョイスティックを左に操作します。

画面に表示する言語を選ぶ

日本語、または英語から選べます。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

日本語　：画面表示の言語が日本語になります。
（出荷時の設定）

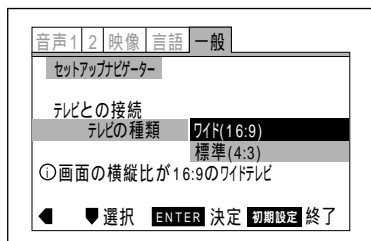
English　：画面表示の言語が英語になります。

お知らせ

- 画面表示言語で選んだ言語が、字幕言語、音声言語でも選択されます（61、62ページ）。

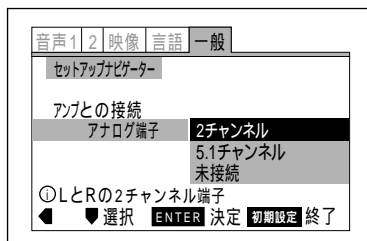
「セットアップナビゲーター」を使って設定する

接続したテレビの種類を選ぶ

本機に接続したテレビの種類を設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

ワイド（16：9）：ワイド（16：9）のテレビと接続したとき選択します。

標準（4：3）：従来サイズ（4：3）のテレビと接続したとき選択します。

接続したアナログ端子を選ぶ

17ページで接続したアナログ音声出力端子のチャンネル数に合わせて設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

2 チャンネル：本機の音声出力(2CH)端子に接続したとき選択します。

5.1 チャンネル：本機の音声出力(5.1CH)端子に接続したとき選択します。

未接続：デジタル音声出力端子にのみ接続したとき選択します。

ディスクの音声と出力する音声について

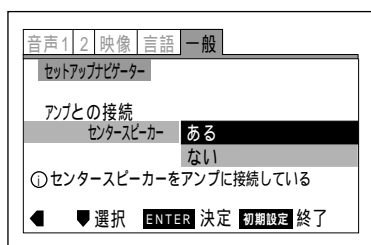
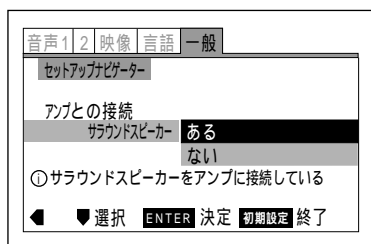
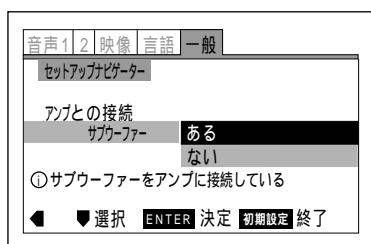
2 チャンネル、5.1 チャンネルの設定により出力される音声が下記の表のように異なります。
デジタル出力についての詳しくは 50 ページをご覧ください。

音声の種類		出力モード	音声出力(2CH)	音声出力(5.1CH)				デジタル出力(S/PDIF)	
			左/右	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	サブウーファー	PCM変換する	PCM変換しない
DVD	ドルビーデジタル	5.1CH	フロント左/右	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *3	–	ドルビーデジタル
DVD	ドルビーデジタル	2CH	2CHダウンミックス左/右	2CHダウンミックス左/右	–	–	–	左/右 *1	ドルビーデジタル
DVD	ドルビーデジタルカラオケ	5.1CH	2CHダウンミックス左/右	2CHダウンミックス左/右	–	–	–	–	ドルビーデジタル
DVD	ドルビーデジタルカラオケ	2CH	2CHダウンミックス左/右	2CHダウンミックス左/右	–	–	–	左/右	ドルビーデジタル
DVD	リニアPCM	5.1/2CH	左/右	左/右	–	–	–	左/右	左/右
DVD	MPEG	5.1/2CH	左/右	左/右	–	–	–	左/右	MPEG
DVD	DTS	5.1CH	フロント左/右	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *3	DTS *2	DTS *2
DVD	DTS	2CH	2CHダウンミックス左/右	2CHダウンミックス左/右	–	–	–	DTS *2	DTS *2
CD		5.1/2CH	左/右	左/右	–	–	–	左/右	左/右
ビデオCD		5.1/2CH	左/右	左/右	–	–	–	左/右	左/右

＊1 再生中にバーチャルドルビーが働いているとき、または初期設定画面の[音声 1]の[Dolby Digital]出力を[Dolby Digital►PCM]に設定しているときはデジタル出力端子からは音声を出力しません。
＊2 [音声 1]の［DTS 出力］をオフに設定すると DTS デジタル信号は出力しません。
＊3 超低域成分
▭ の箇所は音声は出力されません。

アンプに接続したスピーカーを選ぶ

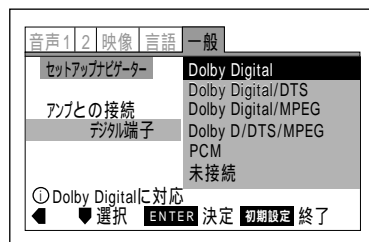
「接続したアナログ端子を選ぶ」の設定で5.1チャンネルを選択した場合は、スピーカーの設定が必要になります。各スピーカーと接続してある場合は「ある」、接続してない場合は「ない」を選択します。
ジョイスティックを上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

[センタースピーカー]

[サラウンドスピーカー]

[サブウーファー]

ある：スピーカーを接続しているとき選択します。
ない：スピーカーを接続してないとき選択します。

お知らせ

・［センタースピーカー］と［サラウンドスピーカー］の両方を「ない」に設定した場合、サブウーファーの設定は必要がないので［サブウーファー］の設定画面は表示されません。

アンプが対応しているデジタル信号を選ぶ

16ページで接続したアンプがどのデジタル信号に対応しているかを設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

Dolby Digital：
本機と接続したAVアンプなどがドルビーデジタル対応のとき選択します。

Dolby Digital/DTS：
本機と接続したAVアンプなどがドルビーデジタルおよび DTS 対応のとき選択します。

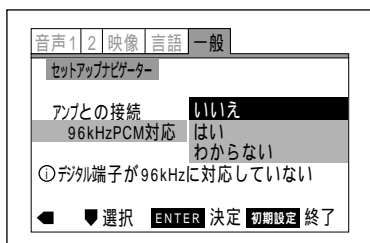
Dolby Digital/MPEG：
本機と接続したAVアンプなどがドルビーデジタルと MPEG 対応のとき選択します。

Dolby D/DTS/MPEG：
本機と接続したAVアンプなどがドルビーデジタル、DTS とMPEG対応のとき選択します。

PCM：本機と接続したアンプがステレオアンプまたはドルビープロロジック対応アンプのとき選択します。

未接続：アンプに接続していないとき、またはアンプがどのデジタル信号に対応しているかわからないとき選択します。この項目を選択すると次の「96kHzPCM対応」の設定は必要がないため、次のページの「セットアップナビゲーターを終了する」へ移ります。

接続したアンプが 96kHz 音声に対応しているかを選ぶ

本機と接続したアンプが96kHzに対応しているか、対応していないかを設定します。**ジョイスティック**を上下に操作して選び、**ENTERボタン**を押します。

いいえ　：本機と接続したアンプが 96kHz に対応していないとき選択します。

はい　：本機と接続したアンプが 96kHz に対応しているとき選択します。

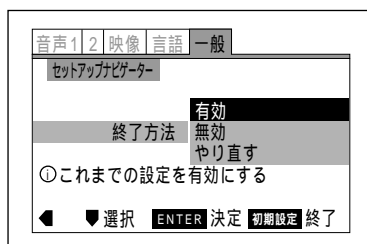
わからない：本機と接続したアンプが 96kHz に対応しているどうかわからないとき選択します。

お知らせ

・「いいえ」、「わからない」を選択したときは、DVD の音声が96kHzであっても48kHzにダウンサンプリングした信号を出力します。

セットアップナビゲーターを終了する

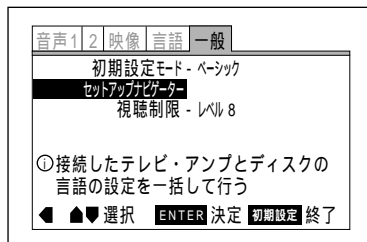
今まで設定した項目を有効にするか無効にするか、やり直すかを選択します。

1 ジョイスティックを上下に操作して[終了方法]を選び、ENTERボタンを押す

有効　：これまでの設定内容を有効にします。

無効　：これまでの設定内容を無効にします。

やり直す：セットアップナビゲーターを使って行った設定をはじめからやり直します。

2 「有効」、「無効」を選んでENTERボタンを押す

設定を終了し、下の画面になります。

3 初期設定ボタンを押す

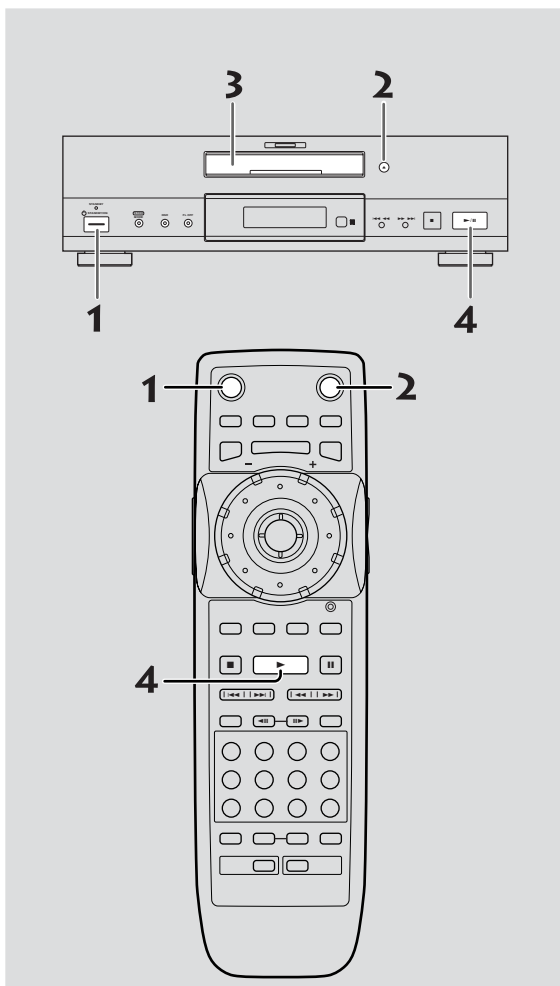
初期設定画面が消えます。

お知らせ

・セットアップナビゲーターでは基本的な設定を行います。より細かな設定は初期設定画面で行います（48ページ以降）。
・セットアップナビゲーターの設定を出荷時に戻すには、電源をオフして、本体の**停止（■）ボタン**を押しながら本体の**電源ボタン**を押してください(68 ページ)。

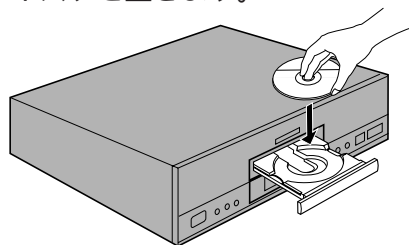
CHAPTER 3 基本的な使いかた

ディスクを再生する

DVD CD VIDEO CD

1 **リモコンの電源ボタン(本体の⏻スタンバイ／オンボタン)を押します**

2 **オープン／クローズ(▲)ボタンを押します**

ディスクテーブルが開きます。

3 **ディスクテーブルのミゾに合わせて、ディスクを置きます。**

4 **再生(►)ボタンを押します**

ディスクテーブルが閉まり、再生を開始します。

ディスクによっては、メニュー画面が表示されます。その場合は次のページをご覧ください。

お知らせ

- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。その他にも、ディスクの取り扱いについて注意していただきたいことがあります。詳しくは69ページをご覧ください。
- プログラムメモリー（38ページ）をしたディスクでは、自動的にプログラムした順に再生が始まります。

ディスクを再生する

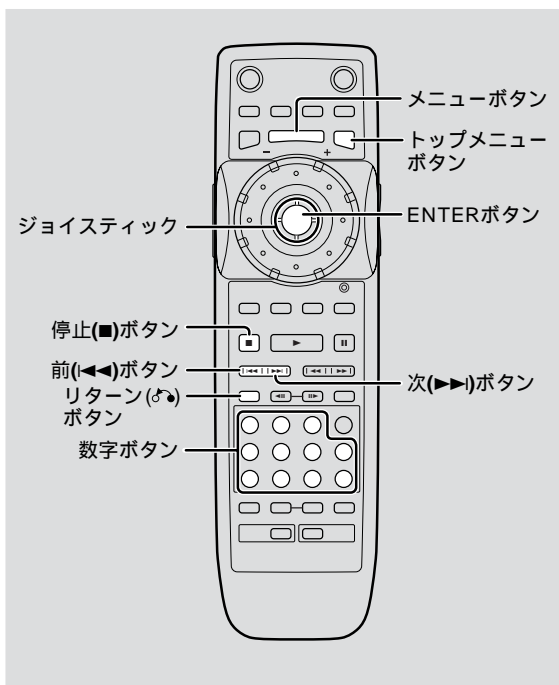
メニュー画面が表示されたとき DVD VIDEO CD

メニュー画面付DVDやプレイバックコントロール（PBC）機能付ビデオCDでは、メニュー画面が表示されます。

メニュー画面を表示させるには

ディスクによってメニュー画面の表示のしかたは異なりますが、DVDでは再生中に**メニューボタン**または**トップメニューボタン**、ビデオCDではPBC再生中に**リターンボタン**を押します。

メニュー画面を消すには

上記の「メニュー画面を表示させるには」と同じボタンを押します。

DVDのとき

1 ジョイスティックを上下左右に動かして選択項目を選び、ENTERボタンを押します

● リモコンの**数字ボタン**を押して選択項目を選ぶこともできます。

例）

VIDEO CDのとき

1 数字ボタンで選びます

● メニュー画面が2ページ以上ある場合は、**前（|◀◀）／次（▶▶|）ボタン**を押してページをめくったり、戻したりします。

例）

お知らせ

・メニュー画面上の操作についてはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

メニュー画面を出さずに（PBC再生をしないで）再生する

・停止中に**前（|◀◀）／次（▶▶|）ボタン**または**数字ボタン**を押して、再生したいトラックを選びます。

見たい項目にスキップする（頭出し） DVD CD VIDEO CD

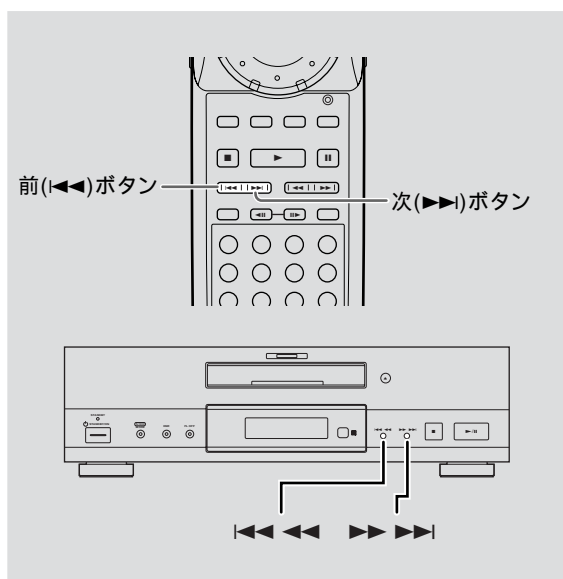
次のチャプター／トラックへ進む

1 再生中にリモコンの次(▶▶|)ボタンを押します(本体では▶▶ ▶▶| ボタン)

● 一度押すと次のチャプター／トラックに進みます。

前のチャプター／トラックへ戻る

1 再生中にリモコンの前(|◀◀)ボタンを押します(本体では|◀◀ ◀◀ ボタン)

● 一度押すと再生中のチャプター／トラックの始めに戻ります。
● 連続して**前（|◀◀）ボタン**を押すと前のチャプター／トラックの始めに戻ります。

ディスクを早送り／早戻しする（スキャン） DVD CD VIDEO CD

早送り

1 再生中にスキャン(▶▶)ボタンを押し続けます(本体では▶▶ ▶▶| ボタン)

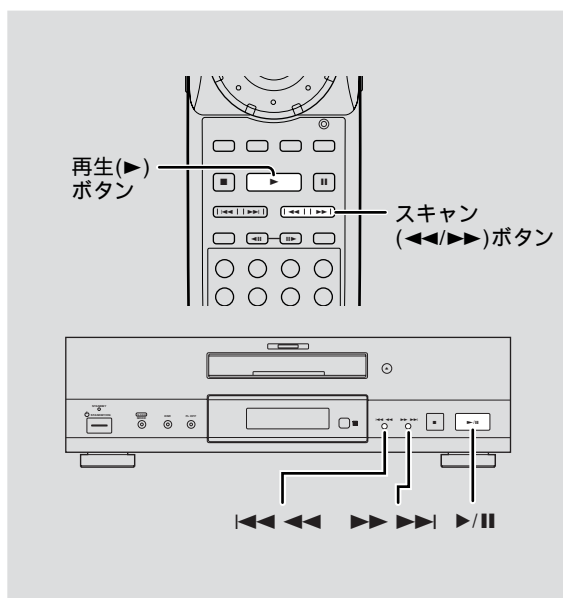
2 見たい／聞きたい場所で、指を離します

その場所から再生が始まります。

早戻し

1 再生中にスキャン(◀◀)ボタンを押し続けます(本体では|◀◀ ◀◀ ボタン)

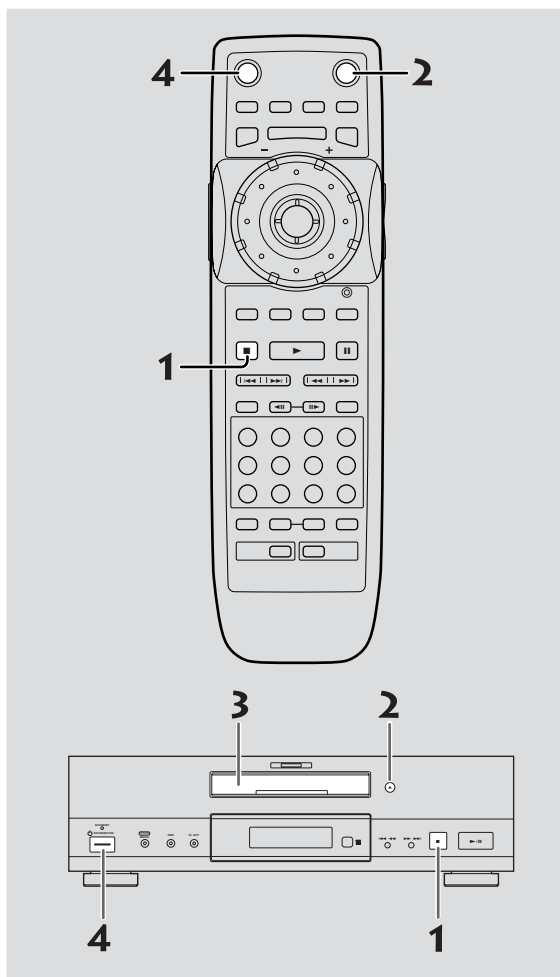
2 見たい／聞きたい場所で、指を離します

その場所から再生が始まります。

お知らせ

ホールドスキャンについて

・再生中に画面表示の“ スキャン ”が点滅から点灯に変わるまで(約 5 秒間)**スキャンボタン**を押しつづけると、**スキャンボタン**から指を離しても、スキャン（早送り／早戻し）しつづけます。
見たい／聞きたい場所まできたら、**再生（▶）ボタン**を押してください。

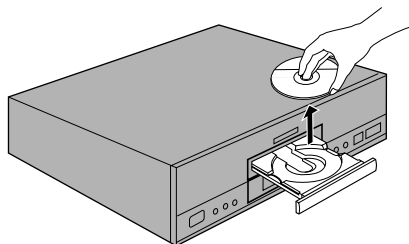
再生を止める

DVD CD VIDEO CD

1 停止(■)ボタンを押します

DVD またはビデオ CD では、停止した場所を記憶します。詳しくは下記のリジューム機能の説明をご覧ください。

2 オープン／クローズ(▲)ボタンを押します

ディスクテーブルが開きます。

3 ディスクを取り出します

4 リモコンの電源ボタン(本体の⏻スタンバイ／オンボタン)を押します

ディスクテーブルが閉まります。

停止した場所を記憶する (リジューム機能) DVD VIDEO CD

再生中に**停止（■）ボタン**を押すと、本体の表示窓に「RESUME」と表示され、停止した場所を記憶します。そしてもう一度、**再生（►）ボタン**を押すと、その場所から再生を始めます。（これをリジューム機能といいます。）

リジューム機能を解除する DVD VIDEO CD

ディスクを取り出すか、停止中にもう一度**停止（■）ボタン**を押します。本体表示窓の「RESUME」が消え、この機能は取り消されます。

お知らせ

- DVDでは、リジューム機能が働いているとき**前（I◄◄）ボタン**または**次（►►I）ボタン**を押すと、それまで再生していたタイトルの始めから再生します。リジューム機能が解除されているとき**再生（►）ボタン**を押すとタイトル 1 の始めから再生します。
- リジューム機能はディスクを取り出すと解除されますが、ディスクの入れ替えをしても、停止した場所や再生中の設定を記憶しておけるラストメモリー機能（39ページ）があります。

CHAPTER 4 便利な使いかた

見たい／聞きたい場所を探す（サーチモード） DVD CD VIDEO CD

DVD のタイトルまたはチャプター、ビデオ CD または CD のトラック、さらに再生を開始する時間を指定（タイムサーチ）して、見たい／聞きたい場所を探すことができます。

1 サーチモードボタンを押して、サーチの種類を選びます

押すたびに以下のようにサーチの種類が変わります。

タイトル → チャプター／トラック → タイム → オフ → タイトル

2 希望のタイトル、チャプター、トラック、または再生を開始したい特定の時間を数字ボタンで選びます

タイトル、チャプター／トラックサーチのとき

例） 3 を選ぶには、3 を押します。
10 を選ぶには、1 と 0 を押します。
37 を選ぶには、3 と 7 を押します。

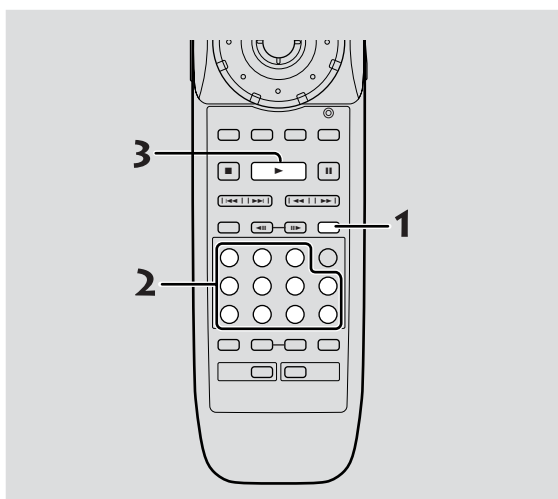
タイムサーチのとき

例） 21分43秒を選ぶには、2、1、4、3と押します。
例） 1時間14分（=74分00秒）を選ぶには、7、4、0、0と押します。

3 再生ボタン(►)を押します

指定したタイトル、チャプター、トラックを再生します。タイムサーチのときは、指定した時間から再生をします。

お知らせ

・ディスクによってはメニューを使ってサーチできるものもあります。この場合、**メニューボタン**を押してメニューを表示させて選択してください。（24 ページ）
・ディスクによってサーチ機能を禁止しているものがあります。その場合は禁止マークが画面に表示されます。
・**CD ではタイムサーチはできません。**
・DVDまたはビデオCDでは指定時間より少しずれた位置から再生が始まることがあります。
・DVD では、停止中にタイムサーチはできません。
・ビデオCDのPBC再生時には、タイムサーチはできません。タイムサーチを行うにはPBC再生を止めてください。（24 ページ）

ダイレクトサーチ

サーチモードボタンを押さなくても、**数字ボタン**を押すだけで見たい／聞きたい場所を探すことができます。

DVDのとき

1 停止中に希望のタイトルを数字ボタンで選びます 再生中に希望のチャプターを数字ボタンで選びます

例） 3 を選ぶには、3 を押します。
10 を選ぶには、+10 と 0 を押します。
37 を選ぶには、+10、+10、+10 と 7 を押します。

CD、VIDEO CD のとき

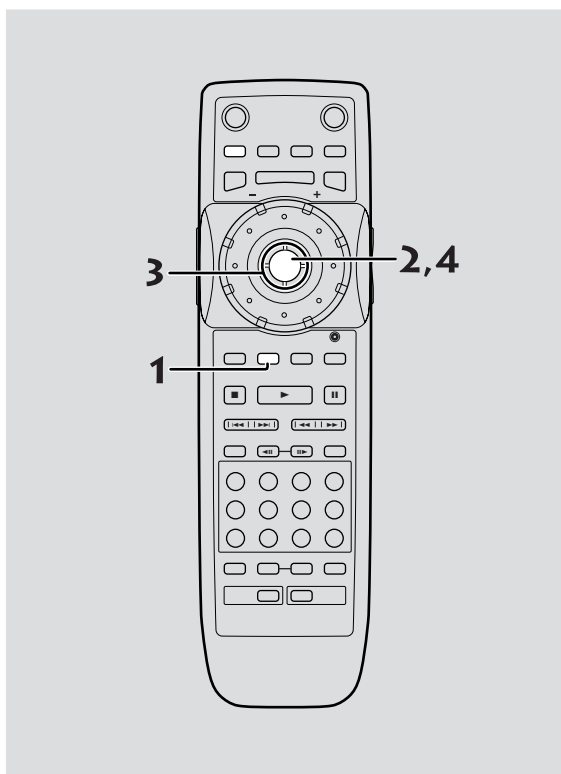
1 再生中に希望のチャプターまたはトラックを数字ボタンで選びます

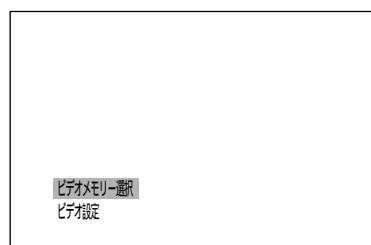
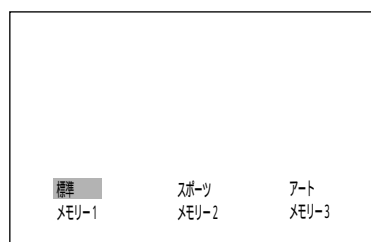
例） 3 を選ぶには、3 を押します。
10 を選ぶには、+10 と 0 を押します。
37 を選ぶには、+10、+10、+10 と 7 を押します。

画質を調整する

DVD VIDEO CD

より良い画質で映像をご覧になりたいとき、またはDVDの内容に合った画質で映像をご覧になりたいときに調整します。
再生中にテレビの画面を見ながら調整することができます。

あらかじめ設定されている画質を選ぶ

1 画質調整ボタン(V.ADJ)を押します

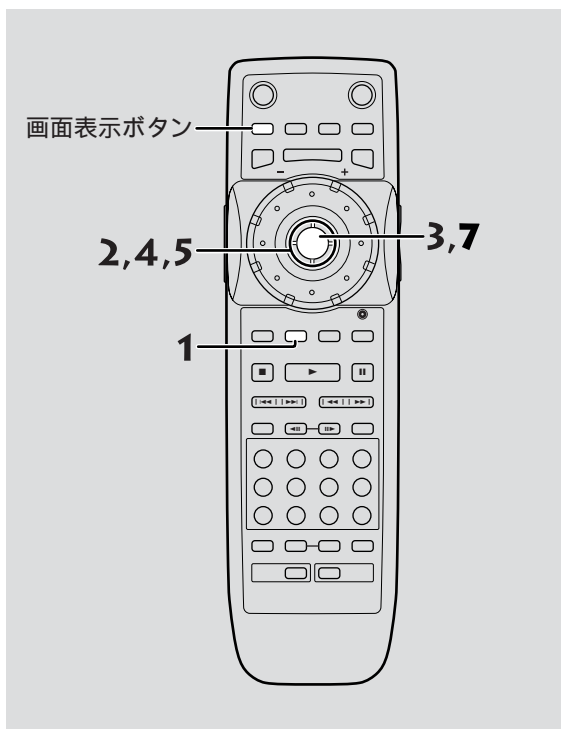
画質調整画面が表示されます。

2 ENTERボタンを押します

3 ジョイスティックで好みの画質を選びます

標準　：本機の標準的な画質設定です。（出荷時の設定）
スポーツ　：スポーツなど、動きの激しい映像を見るときに適しています。
アート　：映画など、動きのゆっくりした映像を見るときに適しています。

● 「メモリー 1」、「メモリー 2」、「メモリー 3」には、好みで調整した画質設定を記憶させることができます。次のページの「好みの画質に調整する」をご覧ください。

4 ENTERボタンを押します

画質調整画面が消えます。

好みの画質に調整する

1 画質調整ボタン(V.ADJ)を押します

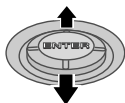
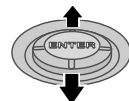
画質調整画面が表示されます。

ビデオメモリー選択
ビデオ設定

2 ジョイスティックで[ビデオ設定]を選びます

ビデオメモリー選択
ビデオ設定

3 ENTERボタンを押します

DNR min max
▲▼ 選択 ENTER 決定 画面表示 確認

4 ジョイスティックを上下に動かして、調整する項目を選びます

調整できる項目は下記の 6 つです。

DNR ：映像のノイズを大幅に軽減します。
シャープネス ：画像の鮮明度を強調します。
ディテール ：画像の輪郭を強調します。
ガンマ ：画像の暗い部分の明るさを調整します。
クロマディレイ ：映像の輝度信号と色信号のずれを調整します。
メモリー ：好みに調整した画質の設定を記憶します。

画面表示ボタンを押すと、6 つの項目すべてを画面に表示します。

お知らせ

・[テレビ画面]の設定を[レターボックス(4:3)]または[パンスキャン(4:3)]にしてDVDを再生しているとき、画面に6つの調整項目をすべて表示させると画面が[ワイド(16:9)]に切り換わることがあります。これは故障ではありません。画面を閉じると[レターボックス(4:3)]または[パンスキャン(4:3)]の設定に戻ります。

5 ジョイスティックを左右に動かして、レベルを調整します

6 手順 4 と 5 を繰り返して、すべての項目を調整します

設定した内容を記憶させたいときは[メモリー]を選び、[1]、[2]、[3]のいずれかに記憶させてください。すでに画質設定が記憶されているときは新しい設定内容が上書きされます。

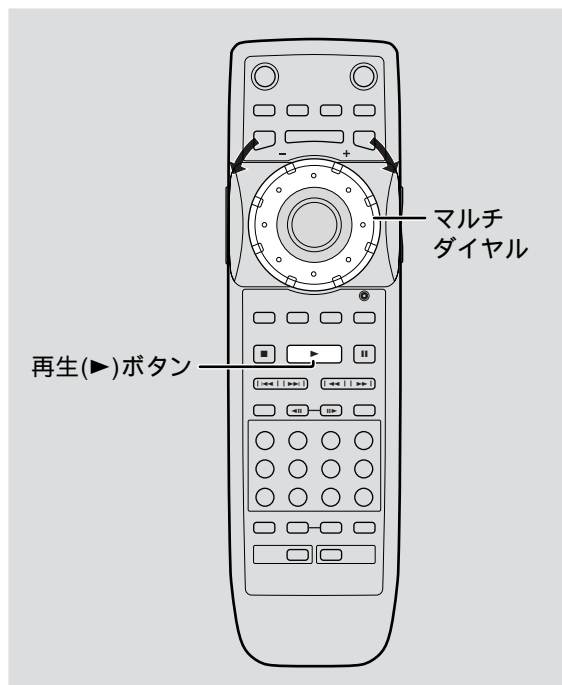
メモリー オフ 1 2 3
▲▼ 選択 ENTER 決定 画面表示 確認

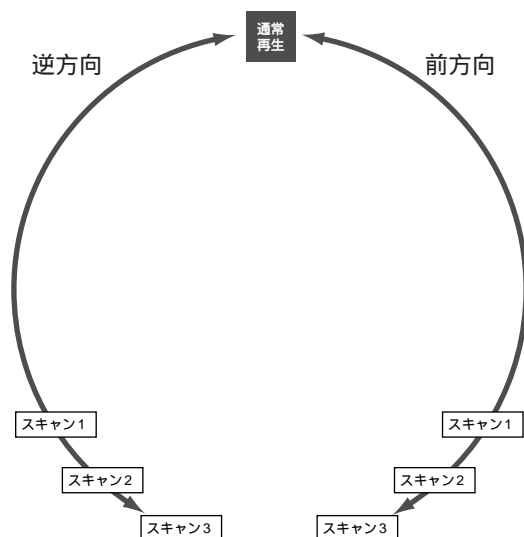
7 ENTERボタンを押します

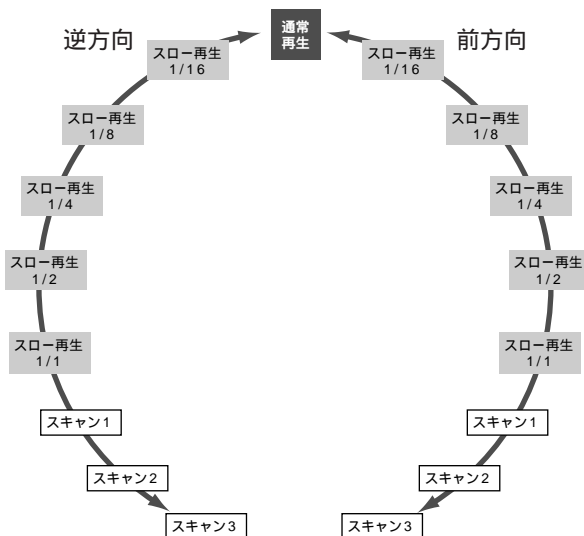
画質調整画面が消えます。

マルチダイヤルを使った特殊再生

マルチダイヤルを使って、再生する速度を様々に変えて楽しむことができます。速度を変える再生には「スロー再生」、「コマ送り再生」と「スキャン」があります。特殊再生中は音声が出力されません。

スロー再生／スキャン

マルチダイヤルをすばやく回したとき

マルチダイヤルを左右にすばやく回すと、下記のようにスキャンの速度を変えることができます。

マルチダイヤルをゆっくり回したとき

マルチダイヤルを左右にゆっくり回すと、下記のように再生速度を変えることができます。

通常の再生に戻すには

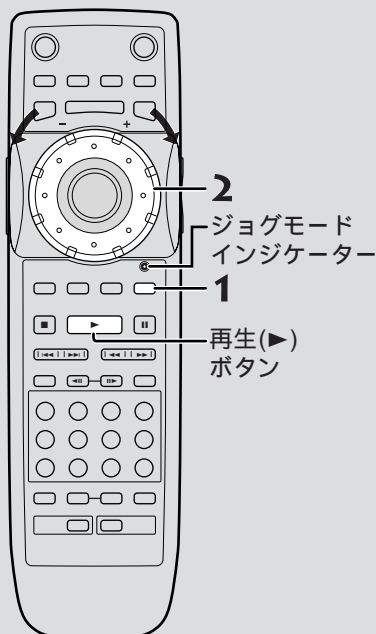
スロー再生またはスキャン中、**マルチダイヤル**を現在再生している方向の逆へすばやく回すと通常の再生に戻ります。

● スロー再生またはスキャン中、**再生（►）ボタン**を押しても通常の再生に戻ります。

お知らせ

- DVDではタイトルによってスロー再生ができないものもあります。このようなときテレビ画面上に⊘が表示されます。
- ディスクによっては逆方向のスロー再生がスムーズにできないことがあります。
- ビデオ CD では逆方向のスロー再生はできません。
- **CDではスキャンのみできます。CDのスキャン中は音声が出力されます。**
- ビデオCDまたはCDのスキャンではスキャン2まで、速度を変えることができます。
- 逆方向のスロー再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。
- 逆方向のスロー再生または逆方向のスキャン中、字幕は表示されません。
- ディスクによってはチャプターの変わり目などで自動的に通常の再生に戻ってしまうことがあります。

コマ送り再生

ジョグモードボタンを押してジョグモードインジケーターを点灯させると、マルチダイヤルを使ってコマ送り再生を楽しむことができます。

1 ジョグモードボタン(JOG)を押します

ジョグモードインジケーターが点灯します。

2 マルチダイヤルを回します

右に回すとコマ送り、左に回すとコマ戻しをします。

● **マルチダイヤル**を回す速度に合わせて再生の速度も変わります。
● 回すのを止めると一時停止になります。

通常の再生に戻すには

再生（►）ボタンを押します。

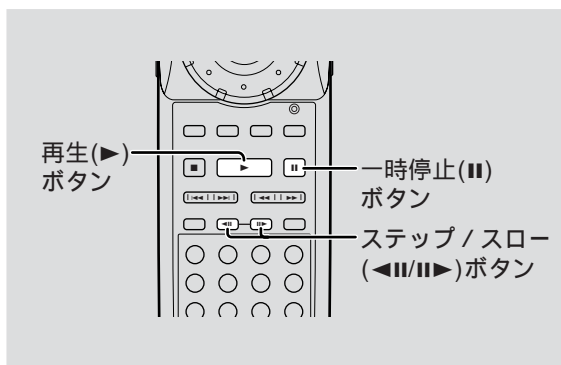
コマ送り再生を解除するには

ジョグモードボタン（JOG）を押します。

● ジョグモードインジケーターが消えます。

お知らせ

・DVDではタイトルによってコマ送り再生、コマ戻し再生ができないものもあります。このようなときテレビ画面上に🚫が表示されます。
・ビデオ CD ではコマ戻し再生ができません。
・コマ戻し再生時は通常の再生時より画質が落ちることがあります。

静止画／速さを変えて再生する DVD VIDEO CD

画像を止めて見る（静止画再生）

1 再生中に一時停止(II)ボタンを押します

静止画再生を止めるには

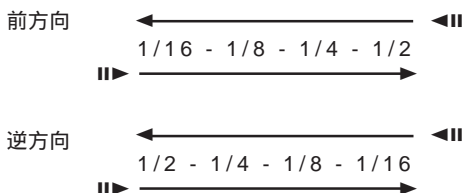
再生（►）ボタンまたは**一時停止（II）ボタン**を押します。

画像をスローで見る（スロー再生）

1 スロー再生が始まるまでステップ／スロー(◄II／II►)ボタンを押しつづけます

◄II：逆方向
II►：前方向

スロー再生の速さを変えるには

スロー再生中に**ステップ／スロー（◄II/II►）ボタン**を押すと、スロー再生の速さを4段階に変えることができます。

スロー再生を止めるには

再生（►）ボタンを押します。

画像をコマ送りで見る（コマ送り再生）

1 ステップ／スロー(◄II／II►)ボタンを押すたびにコマ送りします

1 度押すと 1 コマ送ります。

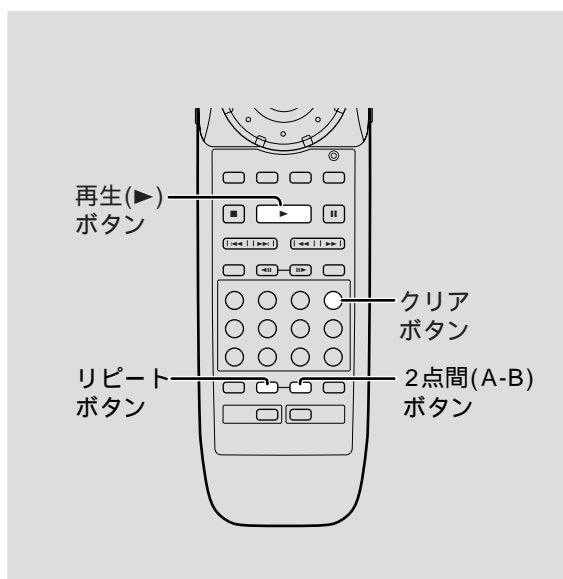
◄II：逆方向
II►：前方向

コマ送り再生を止めるには

再生（►）ボタンを押します。

お知らせ

- **マルチダイヤル**を使ってもスロー再生やコマ送り再生を楽しむことができます（30、31 ページ）。
- 静止画、コマ送り、スロー再生中は音声が出力されません。
- 静止画の画像にブレがあるときは、初期設定画面の[ポーズモード]を[フィールド]に切り換えてください。
- ディスクによっては、静止画再生、コマ送り再生、スロー再生のできないディスクもあります。その場合は マークまたは マークが画面にｊ表示されます。
- ビデオ CD では逆方向のスロー再生、コマ送り再生はできません。
- スロー再生、コマ送り再生については「マルチダイヤルを使った特殊再生（30、31 ページ）」の**お知らせ**もあわせてご覧ください。

繰り返し再生する（リピート再生） DVD CD VIDEO CD

チャプターまたはトラックを繰り返し再生する

1 繰り返したいチャプターまたはトラックを再生中に、リピートボタンを1回押します

再生中のチャプターまたはトラックを繰り返し再生します。

1 つのタイトルを繰り返し再生する

1 繰り返したいタイトルを再生中に、リピートボタンを2回押します

再生中のタイトルを繰り返し再生します。

● CD またはビデオ CD ではディスク 1 枚が 1 つのタイトルなので、そのディスク全体を繰り返します。

指定した範囲を繰り返し再生する

1 再生中に、繰り返したい範囲の始めで2点間A-Bボタンを押します

2 繰り返したい範囲の終わりで2点間A-Bボタンを押します

指定した範囲を繰り返し再生します。

指定した箇所に戻る

1 再生中に、戻る先として指定したい箇所で2点間A-Bボタンを押します

2 戻りたいときに再生(►)ボタンを押します

指定した箇所に戻って再生します。

リピート再生を止める

1 クリアボタンを押します

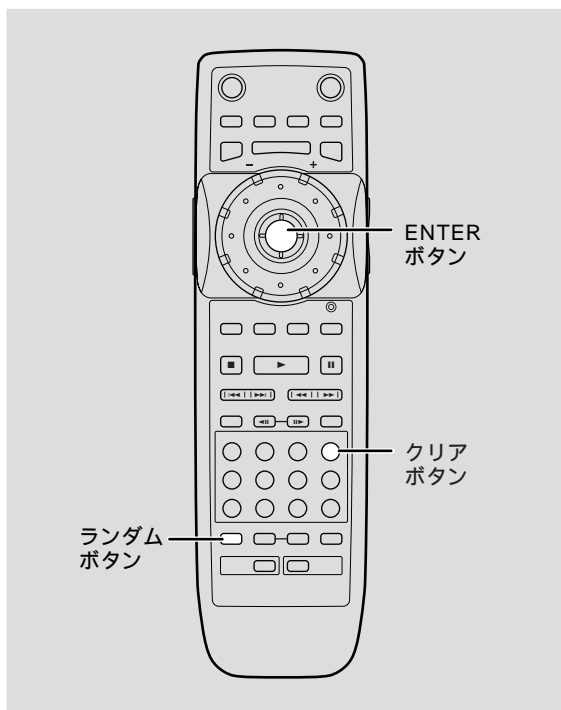
リピート再生は解除され､通常の再生に戻ります。

● **リピートボタン**を押してオフを選択することもできます。

お知らせ

・DVDではタイトルによってはリピート再生のできないものがあります。そのときは、マークが表示されます。
・ビデオ CD の PBC 再生時にはリピート再生はできません。リピート再生するには、ディスクを停止中、繰り返したいトラック番号を**数字ボタン**で入力し、それから**リピートボタン**を押します。（24 ページ）
・プログラム再生中（35ページ）に**リピートボタン**を押すと、プログラムを繰り返し再生します。

順不同に再生する（ランダム再生） DVD CD VIDEO CD

DVDのタイトルやチャプター、ビデオCDまたはCDのトラックを順不同に再生することができます。

DVDのとき

チャプターをランダム再生する

1 再生中にランダムボタンを1回押し、ENTERボタンを押します

再生しているタイトル内のチャプターを順不同に再生します。

タイトルをランダム再生する

1 再生中にランダムボタンを2回押し、ENTERボタンを押します

タイトルを順不同に再生します。

CD、VIDEO CDのとき

トラックをランダム再生する

1 再生中にランダムボタンを押します

順不同に再生します。

ランダム再生を止める

1 クリアボタンを押します

現在再生されているチャプター／トラックから通常の再生に戻ります。

お知らせ

- ランダム再生中に**次（►►I）ボタン**または**ランダムボタン**を押すと、本機が順不同に次の曲または場面を選んで再生します。
- ランダム再生中に**前（I◄◄）ボタン**を押すと、現在再生中の曲または場面を始めから再生し直します。
- ビデオCDのPBC再生時にはランダム再生はできません。ランダム再生するには、ディスクを停止中、トラック番号を**数字ボタン**で入力し、それから**ランダムボタン**を押します。
- チャプターまたはトラックをプログラム再生中（35ページ）にランダム再生はできません。
- DVDの場合、ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
- ランダム再生を繰り返すことはできません。ランダム再生中にリピートボタンを押すと、⊘マークが表示されます。

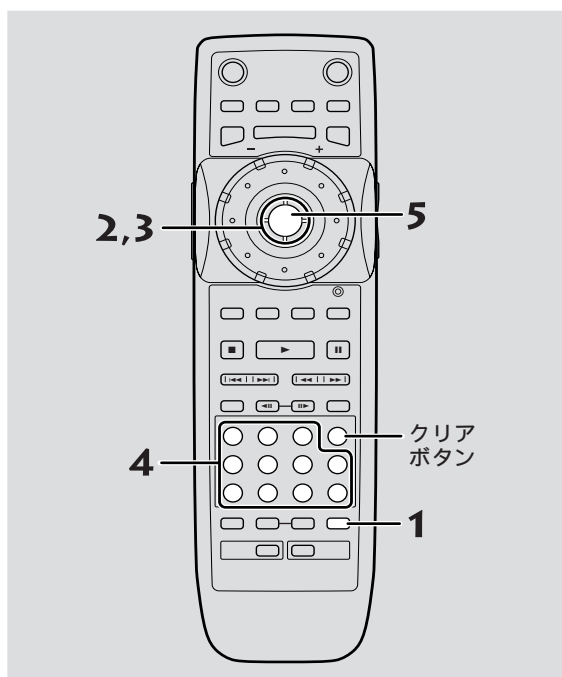
順番を変えて再生する（プログラム再生）DVD CD VIDEO CD

ディスクを希望の順番に並べ替えて再生します。最大 24 ステップまでプログラムできます。

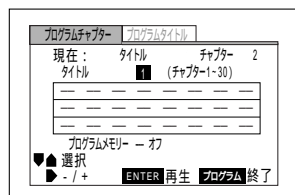
DVDのとき

1 プログラムボタンを押します

プログラム画面が表示されます。

2 ジョイスティックを左右に動かして[プログラムチャプター]または[プログラムタイトル]を選びます

3 ジョイスティックを下に動かしてカーソルをプログラム入力画面に移動させます

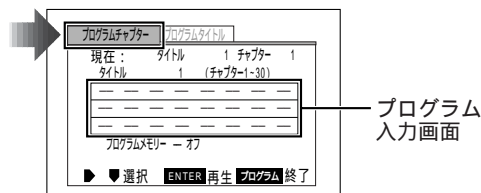
（[プログラムチャプター] でタイトルを変えるには）

プログラムしたいタイトル番号を変えたい場合は、プログラム入力画面の最上段で**ジョイスティック**を上に動かし、**数字ボタン**を押してタイトルを指定します。

4 プログラム再生したい順にタイトルまたはチャプターを、数字ボタンで指定します

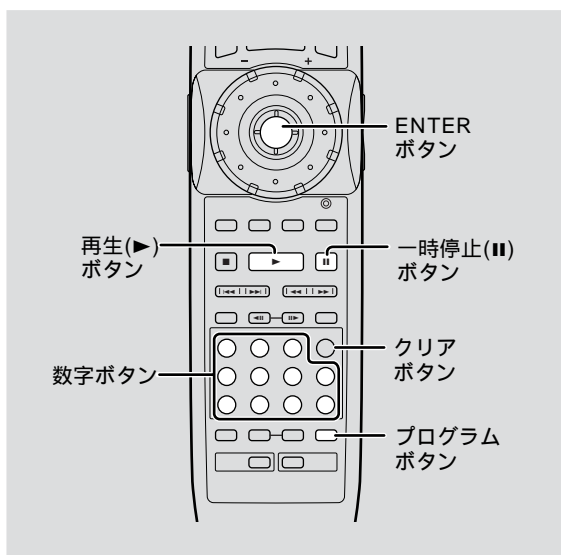
例）タイトル／チャプターを 9、7、18 の順にプログラムするには、**9、7、+10、8** と押します。

5 ENTERボタンを押します

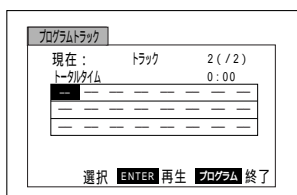
指定した順に再生を開始します。

● プログラム再生をしないでプログラムを終了するには、**プログラムボタン**を押してください。

お知らせ

・DVD の場合、ディスクによってはプログラムできないものがあります。そのようなディスクでは、画面に マークが表示されます。
・チャプターのプログラムは、同じタイトル内のチャプターでのみプログラムできます。
・チャプターが変わるときに、プログラムしていないチャプターの画面が見えることがありますが、故障ではありません。

順番を変えて再生する（プログラム再生）

CD、VIDEO CDのとき

1 **プログラムボタンを押します**

プログラム画面が表示されます。

2 **プログラム再生したい順にトラックを、数字ボタンで指定します**

例） トラックを 9、7、18 の順にプログラムするには、**9**、**7**、**+10**、**8** と押します。

3 **ENTERボタンを押します**

指定した順に再生を開始します。

● プログラム再生をしないでプログラムを終了するには、**プログラムボタン**を押してください。

お知らせ

・ビデオCDのPBC再生時にはプログラム再生はできません。

プログラム再生を止める

1 **再生中にクリアボタンを押します**

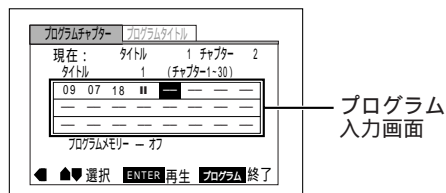
通常の再生に戻ります。

お知らせ

・ディスクテーブルを開くと、プログラムはすべて消えてしまいます。DVDでは、残しておきたいプログラムを本機に記憶させることができます（38 ページ）。
・停止中に**クリアボタン**を押すと、すべてのプログラムが消去されてしまいます。

一時停止をプログラムする

1 **プログラム入力画面で一時停止（II）ボタンを押します**

「 II 」が表示され、一時停止がプログラムされます。

● 一時停止をプログラムすると、次にプログラムしたタイトル、チャプター／トラックの始めで一時停止します。プログラム再生をつづけるには、**再生（►）ボタン**を押してください。

お知らせ

・プログラムの最初と最後には、一時停止はプログラムできません。
・連続して2回以上一時停止をプログラムすることはできません。

映像や音を確認しながらプログラムする

ディスクを再生して、映像や音を確認しながら、チャプター／トラックをプログラムすることができます。

1 プログラムしたいチャプターまたはトラックを再生中に、プログラムボタンを1秒以上押します

以下のような画面が表示されます。

DVDのとき

チャプター　03▶ プログラム　01

CD、VIDEO CDのとき

トラック　01▶ プログラム　02

2 さらにプログラムに追加したいときは操作 1 を繰り返します。

順次プログラムに追加されていきます。

3 プログラムボタンを押します

プログラム画面の内容を確認します。再生を始めるには **ENTER ボタン**を押します。

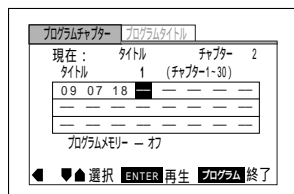
● プログラム再生をしないでプログラムを終了するには、**プログラムボタン**を押してください。

お知らせ

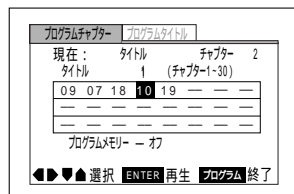
・すでにプログラムが入力されているときは、そのプログラムの後ろに追加されます。
・「プログラムタイトル」が入力された状態でこの機能を使った場合は、チャプターではなく、タイトルがプログラムされます。
・すべてのプログラム（24ステップ）が入力されているときは が表示され、新しくプログラムを入力することはできません。
・チャプタープログラムされているタイトルと現在再生しているタイトルが異なるときは が表示され、プログラムを入力することができません。

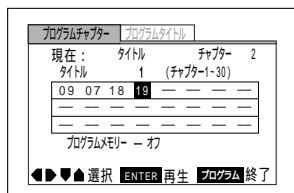
プログラムを確認する

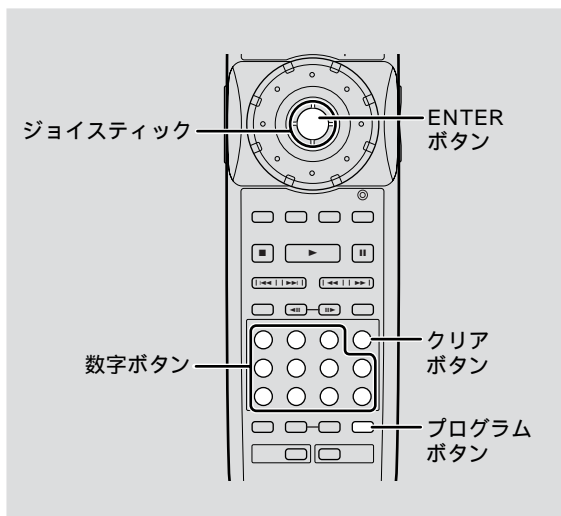
1 プログラムボタンを押します

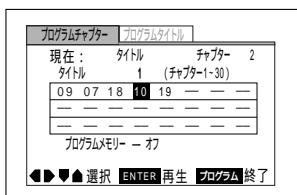
DVDではさらに**ジョイスティック**を左右に動かし［プログラムチャプター］または［プログラムタイトル］を選びます。

● プログラム再生を開始するには **ENTER ボタン**を押します。プログラムを終了するには、**プログラムボタン**を押してください。

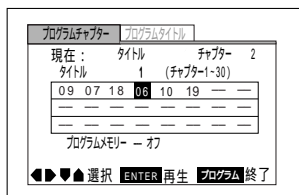
プログラムの内容を 1 つずつ消去する

1 ジョイスティックを上下左右に動かし消去したい番号を指定します

2 クリアボタンを押します

指定された番号は消去され、後の番号が1つずつ前に移動します。

● プログラム再生を開始するには **ENTER ボタン**を押します。プログラムを終了するには、**プログラムボタン**を押してください。

順番を変えて再生する（プログラム再生）

プログラムを追加する

1 挿入したい箇所をジョイスティックを上下左右に動かし指定します

2 数字ボタンを押します

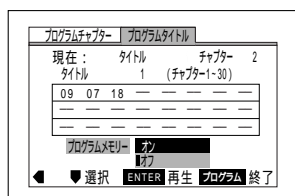
指定された番号は後へ移動し、新しい番号が挿入されます。

● プログラム再生を開始するには**ENTER ボタン**を押します。プログラムを終了するには、**プログラムボタン**を押してください。

お知らせ

・すべてのプログラム（24 ステップ）が入力されているときは、**クリアボタン**で消去してから追加してください。

プログラムを記憶する（プログラムメモリー） DVD

本機はディスクを取り出しても、最大 24 枚まで DVD のプログラムを記憶できます。プログラムを記憶すると、次に同じディスクを再生したとき、プログラム再生を開始します。記憶されたディスクが 24 枚を超えると、自動的に古いディスクの記憶から消去されます。

1 ジョイスティックを上下左右に動かし「プログラムメモリー」の「オン」を選び、ENTERボタンを押します

● プログラム再生を開始するには**再生（►）ボタン**を押します。プログラムを終了するには、**プログラムボタン**を押してください。

プログラムの記憶を消去する

記憶したプログラムを消すには**ジョイスティック**を上下に動かし［プログラムメモリー］の［オフ］を選び、**ENTER ボタン**を押してください。

● ただし、プログラム入力画面に数字は残ったままです。

お知らせ

エフディスクについて

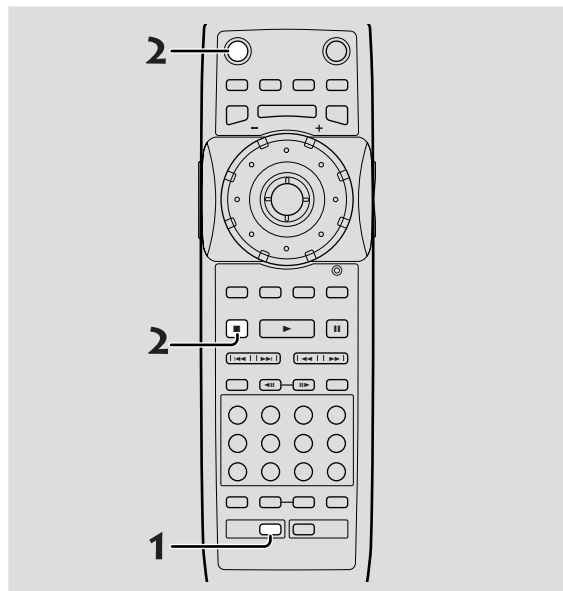
この機能を使うと、（株）フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大 24 個のチャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大 24 枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

プログラムをすべて消去する DVD

1 停止中にクリアボタンを押します

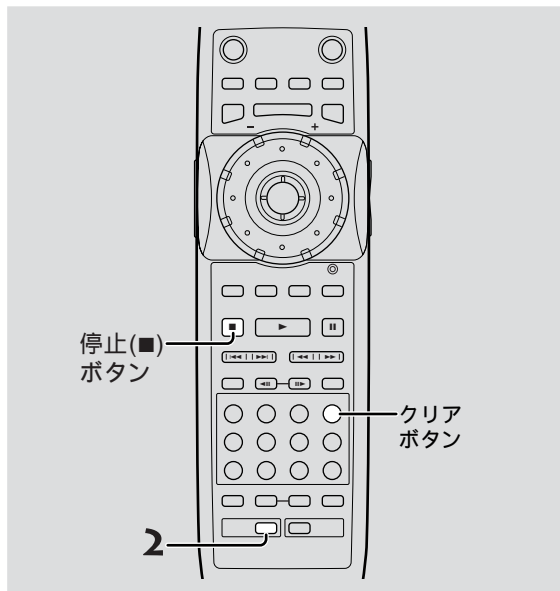
本機に記憶させたプログラムがすべて消去されます。

前に見たディスクのつづきを再生する（ラストメモリー） DVD VIDEO CD

ラストメモリー機能を使うと、つづきから見る場所とそのときの設定内容をDVDは5枚まで、ビデオCDは1枚記憶させておくことができます。

つづきから見る場所を記憶する

1 再生中にラストメモリーボタンを押します

画面に「ラストメモリー」と表示されます。

2 電源ボタンを押して電源を切るか、停止(■)ボタンを押します

つづきから見るには

1 つづきから見る場所を記憶させたディスクを入れます

DVDの中には、ディスクを入れると自動的に再生をはじめるものがあります。この場合、**停止（■）ボタン**を押して再生を止めてください。

2 停止中にラストメモリーボタンを押します

ラストメモリーを消去するには

ラストメモリーボタンを押して、画面に「ラストメモリー」と表示されている間に**クリアボタン**を押します。表示窓の「LAST MEMORY」インジケーターが消灯し、記憶が消去されます。

お知らせ

・ビデオCDでは、PBC再生をしたときは、ラストメモリー再生ができない箇所があります。ラストメモリー再生ができないときは、メニューを出さずに再生してください（24ページ）。

お知らせ

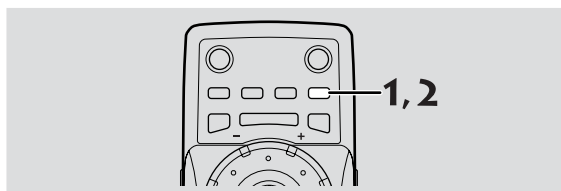
・リジューム機能（26ページ）と違い、一度記憶するとディスクを取り出しても記憶は消去されません。
・DVDの場合、ディスクによってはラストメモリーできないことがあります。
・DVDでは、記憶された枚数が5枚を超えると古い記憶（最初に記憶したもの）から消去されます。
・ビデオCDでは、1枚のみ記憶することができますが、**ディスクを取り出すと記憶が消去されます。**

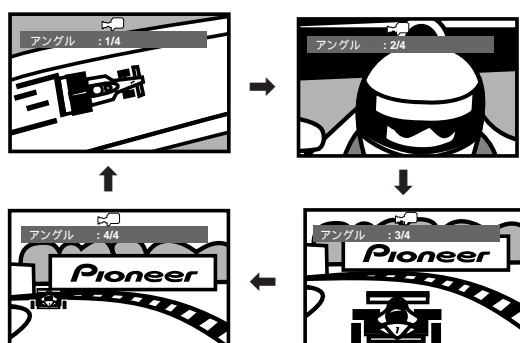
映像のアングルを切り換える（マルチアングル） DVD

複数の方向（アングル）から映した映像を収録したDVDは、再生中にアングルを切り換えることができます。複数のアングルが収録されたDVDのジャケットにはマークが付いています。

1 再生中、マークが表示されたら、アングルボタンを押します

2 さらにアングルボタンを押して、お好みのアングルを選びます

押すたびに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。
- 一部のDVDでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。
- マークを表示させたくないときは、初期設定画面の［アングルインジケーター］をオフにします（60ページ）。

よく見るDVDの設定を記憶させる（コンディションメモリー） DVD

コンディションメモリー機能を使うと、よく見るDVDの設定内容を最大15枚まで記憶させることができます。

1 ディスクが入った状態でコンディションメモリーボタンを押します

画面に「コンディションメモリー」と表示されます。

記憶できる設定は以下の6つです。

- ・画質調整（28ページ）
- ・画面表示位置（60ページ）
- ・マルチアングル（40ページ）
- ・音声言語（61ページ）
- ・視聴制限（41ページ）
- ・字幕言語（62ページ）

記憶してあるディスクを入れると

画面に「コンディションメモリー」と表示され、自動的に記憶された設定になります。
表示窓には「COND. MEMORY」インジケーターが点灯します。

コンディションメモリーを消去するには

コンディションメモリーボタンを押して、画面に「コンディションメモリー」と表示されている間に**クリアボタン**を押します。表示窓の「COND. MEMORY」インジケーターが消灯し、記憶が消去されます。

お知らせ

- 一度記憶された設定は、何度再生しても保持されます。
- 一度記憶すると電源を切ったり、ディスクを取り出しても記憶は消去されません。
- 記憶された枚数が15枚を超えると古い記憶（最初に記憶したもの）から消去されます。
- ディスクによってはコンディションメモリーで記憶された設定が自動的に切り換わるものがあります。

視聴制限をする（パレンタルロック）　DVD

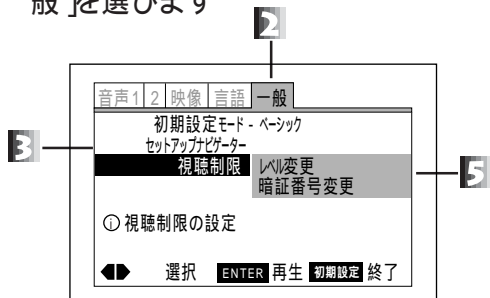
暴力シーンなどを含む DVD の中には、視聴制限のレベル（大小）を設けたものがあります。（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます。）本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを 6 に設定しておくと、レベル 7、レベル 8 のディスクを再生するためには暗証番号の入力が必要です。

レベルを設定する

視聴制限のレベルと、暗証番号を設定します。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

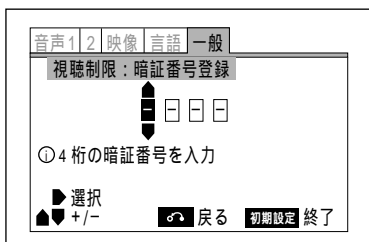
初期設定画面が表示されます。

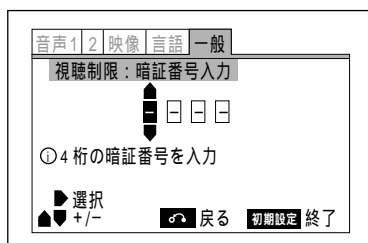
2 ジョイスティックを左右に動かし[一般]を選びます

3 ジョイスティックを上下に動かし[視聴制限]を選びます

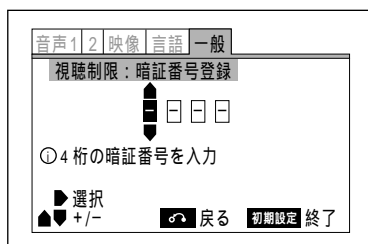
4 ジョイスティックを右に動かします

5 ジョイスティックを上下に動かし[レベル変更]を選び、ENTERボタンを押します

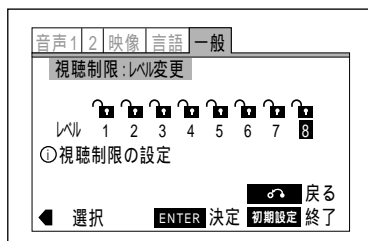
（暗証番号がまだ登録されていないとき）

暗証番号登録の画面が表示されます。

（暗証番号がすでに登録されているとき）

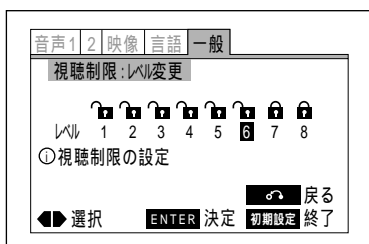
暗証番号入力の画面が表示されます。

6 数字ボタンを押して、暗証番号を4桁で入力します

● 1 ケタごとに**ジョイスティック**を上下に動かし数字を選択することもできます。**ジョイスティック**を左右に動かしケタを移動します。

7 ENTERボタンを押します

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。

● 出荷時の設定はレベル8（制限しない）に設定されています。

視聴制限をする（パレンタルロック）

8 ジョイスティックを左右に動かしレベルを選びます

例えばレベル 6 を選んだ場合は、レベル 7 とレベル 8 のディスクに対して視聴制限がされます。

9 ENTERボタンを押します

視聴制限のレベルが設定されます。

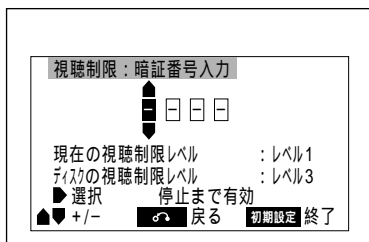
お知らせ

- 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。
- 暗証番号を忘れたときは、出荷時の設定に戻して（68ページ）、設定し直してください。

視聴制限できる DVD を再生するとき

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと、再生は始まりません。

1 数字ボタンで暗証番号を入力します

- 1 ケタごとに**ジョイスティック**を上下に動かし数字を選択することもできます。**ジョイスティック**を左右に動かしケタを移動します。

2 ENTERボタンを押します

再生が始まります。

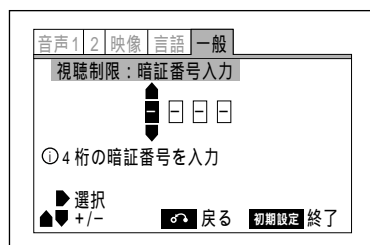
お知らせ

- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

暗証番号を変更する

1 前ページ「レベルを設定する」の手順 1 ～ 4 の操作を行います

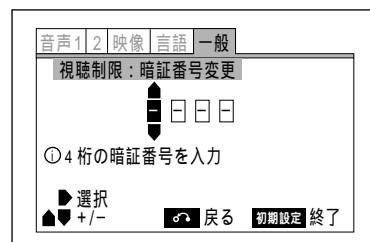
2 ジョイスティックを上下に動かし［暗証番号変更］を選び、ENTERボタンを押します

暗証番号入力の画面が表示されます。

3 数字ボタンを押して、現在の暗証番号を4桁で入力します

- 1 ケタごとに**ジョイスティック**を上下に動かし数字を選択することもできます。**ジョイスティック**を左右に動かしケタを移動します。

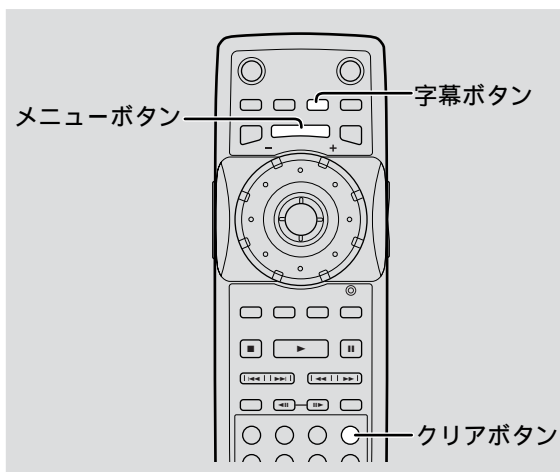
4 ENTERボタンを押します

暗証番号変更の画面が表示されます。

5 数字ボタンを押して、新しい暗証番号を4桁で入力します

6 ENTERボタンを押します

暗証番号が変更されます。

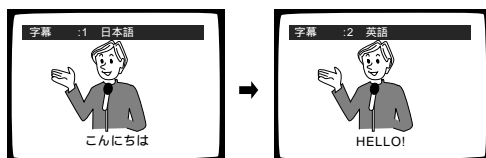
再生中に字幕を切り換える DVD

複数の言語で字幕が記録されたDVDを再生しているときは、表示する字幕を変更することができます。

1 DVDを再生中に字幕ボタンを押します

現在選択している字幕が表示されます。

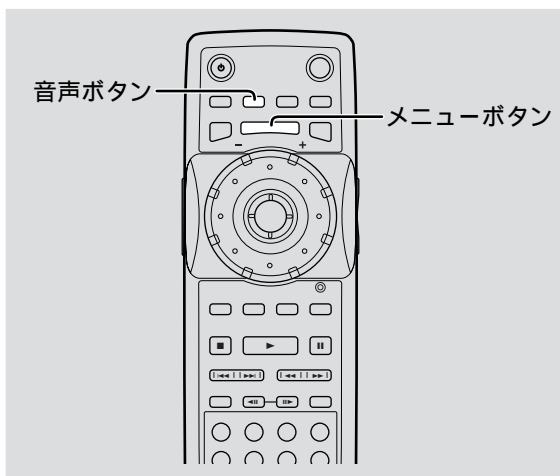
2 さらに字幕ボタンを押します

押すたびに字幕表示が切り換わります。

➡

お知らせ

- 字幕を消すには**字幕ボタン**を押したあと**クリアボタン**を押すか、**字幕ボタン**を押して「オフ」を選んでください。
- DVDでは字幕の切り換えはディスクのメニュー画面でも行える場合があります。その場合には**メニューボタン**を押して、メニュー画面を表示させてから選択します。（24 ページ）
- ここで切り換えた字幕言語は一時的なものです。リジューム機能（26 ページ）を解除したとき、またはディスクを本機から取り出したとき、初期設定画面の［字幕言語](62 ページ）で選択した字幕言語に戻ります。

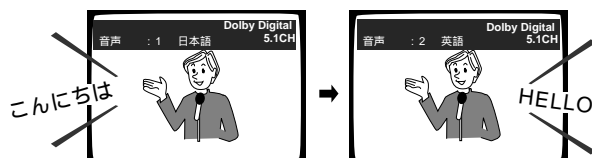
再生中に音声を切り換える DVD

複数の言語で音声が記録されたDVDを再生しているときは、再生する音声を変更することができます。

1 DVDを再生中に音声ボタンを押します

現在選択している音声が表示されます。

2 さらに音声ボタンを押します

押すたびに音声が切り換わります。

➡

お知らせ

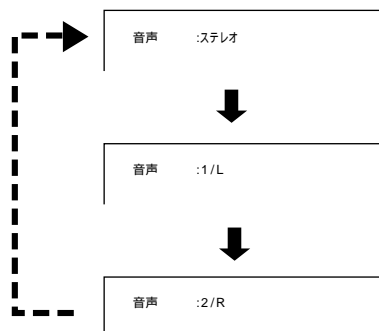
- DVD の音声の切り換えはディスクのメニュー画面でも行える場合があります。その場合には**メニューボタン**を押して、メニュー画面を表示させてから選択します。（24 ページ）
- ここで切り換えた音声言語は一時的なものです。リジューム機能（26 ページ）を解除したとき、またはディスクを本機から取り出したとき、初期設定画面の［音声言語](61 ページ）で選択した字幕言語に戻ります。
  ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になるときがあります。

ステレオ／左／右の音声を切り換える

CD VIDEO CD

ビデオ CD や CD では音声の種類を切り換えることができます。

1 ビデオCD、CDを再生中に音声ボタンを押します

押すたびに音声がステレオ、1/L（左）、2/R（右）に切り換わります。

お知らせ

・カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

ディスクの情報を見る　DVD CD VIDEO CD

DVDのタイトルやチャプター情報、またはビデオCDやCDのトラック情報を見ることができます。停止中にはトータル情報が表示され、再生中にはより細かなディスク情報が見られます。

停止中にディスクの情報を見る

1 停止中に画面表示ボタンを押します

ディスク情報の画面が表示されます。

DVDのとき

タイトルとそれぞれのタイトル内のチャプター数が表示されます。

1/2とは、情報が2ページあり、この画面がその1ページ目であることを表わします。

ディスクの情報が2ページ以上あるときは、**ジョイスティック**を右に動かすと、次の画面が表示されます。

CD、VIDEO CDのとき

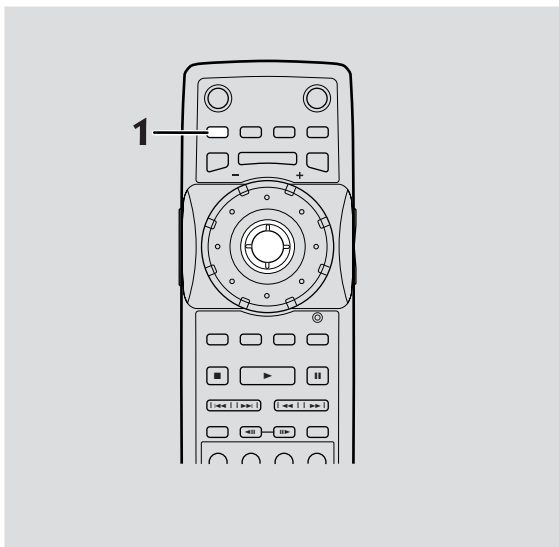
トラックとそれぞれのトラック時間が表示されます。

1/2とは、情報が2ページあり、この画面がその1ページ目であることを表わします。

ディスクの情報が2ページ以上あるときは、**ジョイスティック**を右に動かすと、次の画面が表示されます。

ディスク情報を消すには

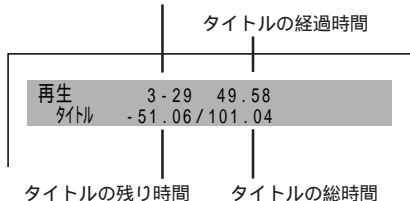
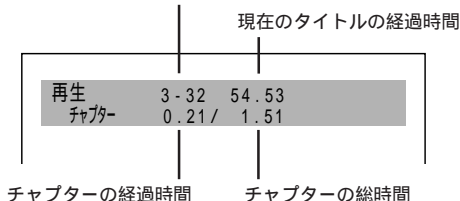
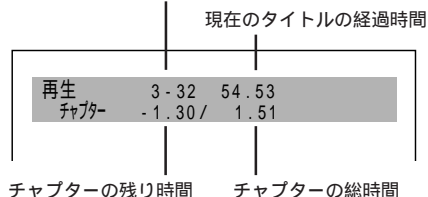
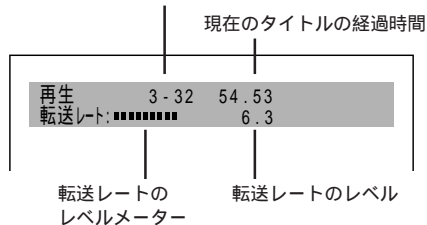
画面表示ボタンをもう一度押します。ディスク情報の画面が消えます。

ディスクの情報を見る

再生中にディスクの情報を見る

1 再生中に画面表示ボタンを繰り返し押します

押すたびに以下のようなディスク情報が画面上部に表示されます。

DVDのとき

1 回押すと現在のタイトル情報が表示されます。

2 回押すと現在のチャプター情報が表示されます。

3回押すと現在のチャプター情報がさらに表示されます。

4回押すと転送レート*のレベルメーターが表示されます。

* ＤＶＤに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとはかぎりません。

5 回押すと表示画面が消えます。

お知らせ

・タイトルによってはチャプターや時間が表示されないものがあります。

VIDEO CD のとき

1 回押すとビデオ CD の情報が表示されます。

2 回押すと現在のトラック情報が表示されます。

3回押すと現在のトラック情報がさらに表示されます。

4 回押すと表示画面が消えます。

CD のとき

1 回押すと現在のトラックの情報が表示されます。

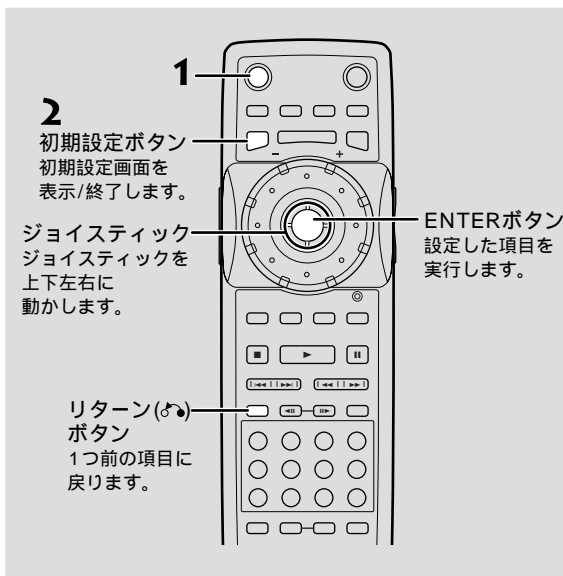
2 回押すと CD の情報が表示されます。

3 回押すと表示画面が消えます。

お知らせ

・ビデオCDのPBC再生中にはディスクの情報を見ることはできません。

初期設定画面の操作のしかた

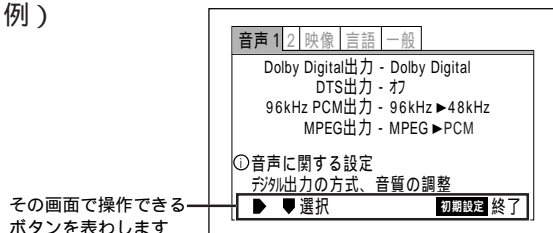
初期設定画面を使って、さまざまな設定を行うことができます。
ここでは初期設定画面の基本的な操作方法や使用するボタンの位置ついて説明します。

初期設定画面を表示する

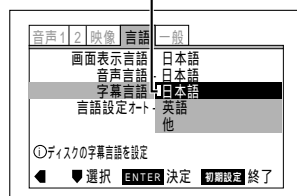
1 リモコンの電源ボタン(本体の⏻スタンバイ／オンボタン)を押します

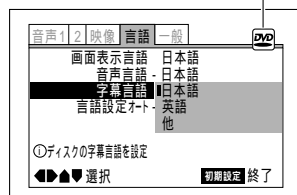
電源が入っている場合は 2 に進んでください。

2 初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

例)

ディスクの種類により変更後すぐに働く設定項目

DVD、ビデオCD、CDといったディスクの種類によって、変更後すぐに働く設定項目があります。本機では、選択項目の左にあるインジケーターの色で確認できます。下記の表をご覧ください。

インジケーターの色	ディスクの種類
青色	DVDのみ
黄色	DVD／ビデオCDのみ
緑色	ディスクの種類にかかわりません

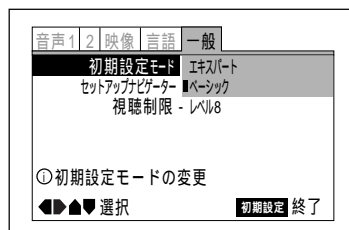
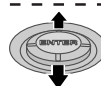
・ビデオ CD または CD が入っているとき、初期設定画面で DVD しか働かない項目を選ぶと、画面の右上に青い DVD マークが表示されます。

再生中に変更できない項目

再生中では設定の変更ができない項目は、灰色で表示されます。

お知らせ

・初期設定を操作すると、リジューム機能（26 ページ）が解除される場合があります。

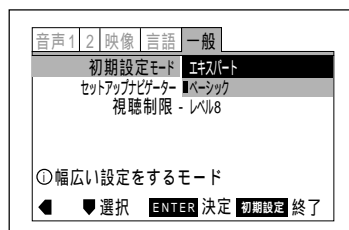
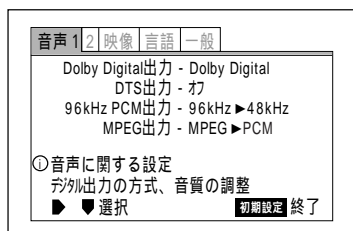
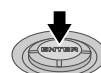
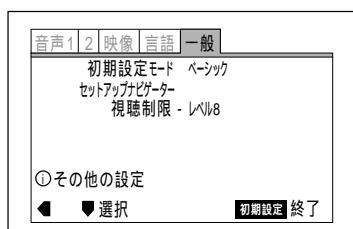
より細かな設定をするには（「エキスパート」に切り換える）

初期設定画面には「ベーシック」と、細かな設定が行える「エキスパート」の 2 種類があります。この取扱説明書では、「エキスパート」で設定する設定項目については エキスパート マークが付いています。

1 初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 ［一般］を選びます

3 ［初期設定モード］を選びます

4 ［エキスパート］を選びます

5 ENTERボタンを押します

お知らせ

・初期設定画面を「エキスパート」から「ベーシック」に戻すには、同じように初期設定画面の［一般］から**ジョイスティック**を上下左右に動かし［初期設定モード］の［ベーシック］を選び、**ENTER ボタン**を押します。

デジタル出力の設定をする

**本機に接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。適切な設定をしないと、ノイズが発生することがありますので注意してください。
お手持ちのアンプの取扱説明書もあわせてお読みください。**

ドルビーデジタル出力

つないだアンプがドルビーデジタルに対応していない場合は、設定を [Dolby Digital►PCM] にします。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

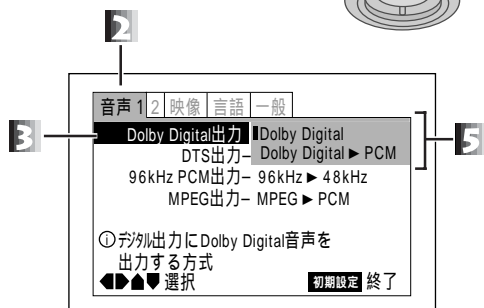
初期設定画面が表示されます。

2 [音声1]を選びます

3 [Dolby Digital出力]を選びます

4 右へ動かします

5 設定したい項目を選びます

6 ENTERボタンを押します

Dolby Digital
: ドルビーデジタル対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。(出荷時の設定)

Dolby Digital ► PCM
: Dolby Digital信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選びます。

7 初期設定ボタンを押します

DTS 出力

つないだアンプがDTS対応の場合は、設定を [DTS] にします。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

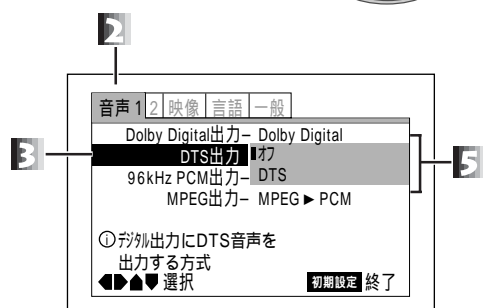
初期設定画面が表示されます。

2 [音声1]を選びます

3 [DTS出力]を選びます

4 右へ動かします

5 設定したい項目を選びます

6 ENTERボタンを押します

オフ：DTSに対応していないアンプと接続したときに選びます。(出荷時の設定)

DTS：DTS対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

7 初期設定ボタンを押します

96kHz PCM出力

つないだアンプが96kHz対応の場合は、設定を[96kHz]にします。この設定は再生中に変更できません。

1 **リモコンの初期設定ボタンを押します**

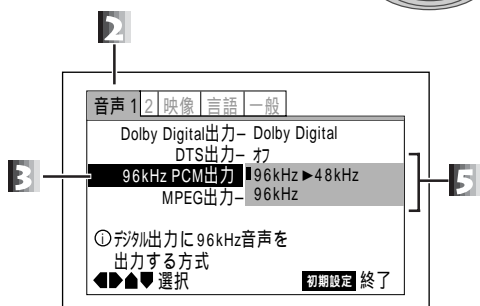
初期設定画面が表示されます。

2 **[音声1]を選びます**

3 **[96kHz PCM出力]を選びます**

4 **右へ動かします**

5 **設定したい項目を選びます**

6 **ENTERボタンを押します**

96kHz ▶ 48kHz
：96kHzの信号を48kHzにダウンサンプリングして出力します。96kHzに対応していないアンプと接続したときに選びます。(出荷時の設定)

96kHz ：96kHz対応アンプまたはDACと接続したときに選びます。

7 **初期設定ボタンを押します**

MPEG出力

つないだアンプがMPEG対応の場合は、設定を[MPEG]にします。

1 **リモコンの初期設定ボタンを押します**

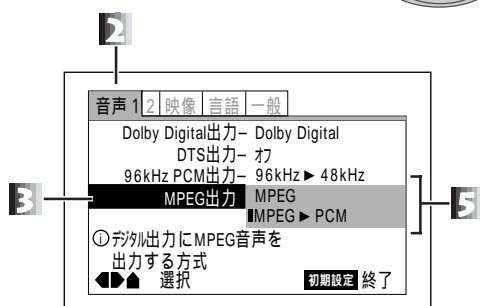
初期設定画面が表示されます。

2 **[音声1]を選びます**

3 **[MPEG出力]を選びます**

4 **右へ動かします**

5 **設定したい項目を選びます**

6 **ENTERボタンを押します**

MPEG ：MPEG対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

MPEG ▶ PCM
：MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないアンプと接続したときに選びます。(出荷時の設定)

7 **初期設定ボタンを押します**

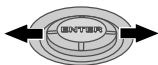
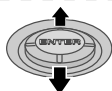
デジタル出力の設定をする エキスパート

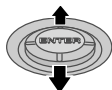
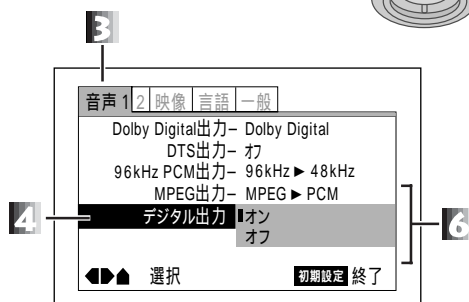
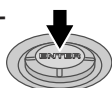
デジタル音声出力端子から音声信号を出力しないように設定できます。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 「エキスパート」に切り換えます（49ページ）

3 [音声1]を選びます

4 [デジタル出力]を選びます

5 右に動かします

6 設定したい項目を選びます

7 ENTERボタンを押します

オン：後面のデジタル出力端子から音声を出力します。（出荷時の設定）

オフ：後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

8 初期設定ボタンを押します

サラウンドや音質の効果を得る

サラウンド(立体音場)にする

この機能は、音声出力（2CH）端子に接続し、「セットアップナビゲーター」または「初期設定画面」で「音声出力」を[2 チャンネル]に設定した場合にだけ働きます。
再生音声にあわせて、本機はバーチャルドルビーデジタルと TruSurround を自動的に切り換えます。

1 **リモコンの初期設定ボタンを押します**

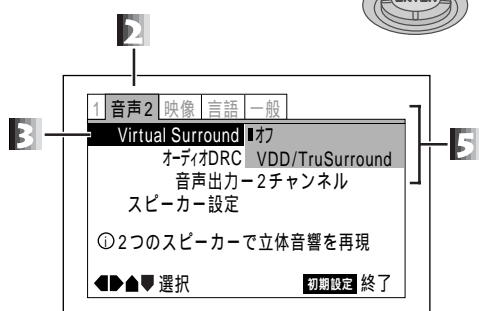
初期設定画面が表示されます。

2 **[音声2]を選びます**

3 **[Virtual Surround]を選びます**

4 **右へ動かします**

5 **[VDD/TruSurround]を選びます**

6 **ENTERボタンを押します**

オフ：働きません。（出荷時の設定）

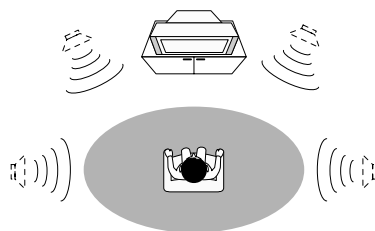
VDD/TruSurround

：立体音場（サラウンド）になります。

7 **初期設定ボタンを押します**

TruSurroundとバーチャルドルビーデジタルについて

本機はSRS社のTruSurround*技術により、サラウンドエンコードされたステレオ音声やマルチチャンネル音声を処理して、2つの前面スピーカーのみでバーチャルサラウンド（仮想立体音場）を実現しています。

特に、再生音声がドルビーデジタルマルチチャンネル音声のときはバーチャルドルビーデジタル機能が自動的に働き、より臨場感のある立体音場が再現されます。

(●)TruSurround™

* TruSurroundと(●)記号は米国と選択された諸外国におけるSRS Labs, Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスにより製品化されています。

CHAPTER 5 いろいろな設定

お知らせ

- DVDのDTS音声、96kHz PCM音声を再生しているとき、またはCDを再生しているときは、この機能は働きません。
- バーチャルドルビーデジタルが働いているときは、リモコンの**音声ボタン**を押すと、画面の左上に「VDD」と表示されます。
- バーチャルドルビーデジタルが働いているとき、「初期設定画面」の[音声1]の[Dolby Digital出力]を[Dolby Digital ► PCM]に設定してあるときは、デジタル出力端子から音声は出力されません(50 ページ)。
- 「初期設定画面」の[音声 2]の[音声出力]を［5.1 チャンネル］に設定してあるときバーチャルサラウンドは働きません。
- ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。

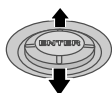
ドルビーデジタル音声を調節する

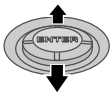
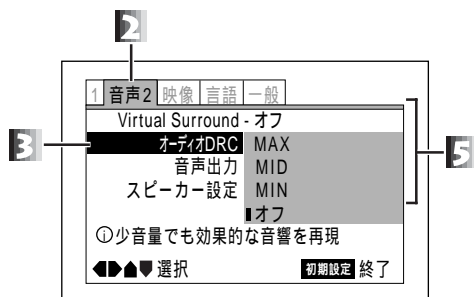
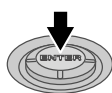
音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。オーディオＤＲＣ（ダイナミックレンジコンプレッション）を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 [音声2]を選びます

3 [オーディオDRC]を選びます

4 右へ動かします

5 設定したい項目を選びます

6 ENTERボタンを押します

MAX：最も効果があります。
MID ：MAX と MIN 中間の効果があります。
MIN ：少し効果があります。
オフ ：オーディオDRCを解除します。（出荷時の設定）

7 初期設定ボタンを押します

お知らせ

・オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。
・オーディオDRCの効果は、お使いのスピーカーまたはAV アンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定をお選びください。

アナログ音声出力とスピーカーの設定

音声出力の設定

本機には音声出力（2CH）端子と音声出力（5.1CH）端子の2つのアナログ音声出力端子があります。この設定では、どちらの音声出力端子に接続したかを選択することができます。

1 **リモコンの初期設定ボタンを押します**

初期設定画面が表示されます。

2 **[音声2]を選びます**

3 **[音声出力]を選びます**

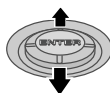
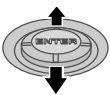
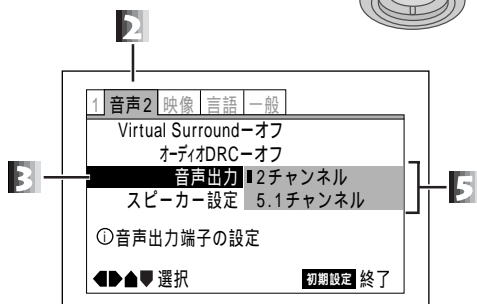
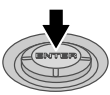
4 **右へ動かします**

5 **設定したい項目を選びます**

6 **ENTERボタンを押します**

ENTER

2

1 音声2 映像 言語 一般
Virtual Surround－オフ
オーディオDRC－オフ
3 音声出力 2チャンネル
スピーカー設定 5.1チャンネル 5
ⓘ音声出力端子の設定
◀▶▲▼選択 初期設定 終了

2 チャンネル　：後面の音声出力（2CH）端子に接続したとき選択します（出荷時の設定）

5.1 チャンネル：後面の音声出力（5.1CH）端子に接続したとき選択します

7 **初期設定ボタンを押します**

お知らせ

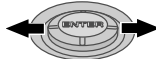
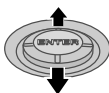
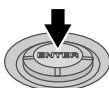
・[2チャンネル]、[5.1チャンネル]どちらに設定 したかによって出力される音声が異なります。詳しくは 20 ページの表をご覧ください。
・5.1 チャンネルに設定すると、本体の 5.1CH MODE インジケーターが点灯します（9 ページ）。
・5.1チャンネルに設定すると、後面の音声出力（2CH）端子からはフロント右とフロント左の音声が出力されます。
・ディスクにセンターチャンネルおよびサブウーファーチャンネルが記録されていない場合は、センタースピーカーおよびサブウーファーから音声は出力されません。
・[音声出力]を[5.1チャンネル]に設定していて、[音声1]の[Dolby Digital出力]を [Dolby Digital ►PCM] に設定しているときはデジタル出力端子からドルビーデジタル音声は出力されません（50 ページ）。

スピーカーの設定

音声出力（5.1CH）端子に AV アンプを接続している場合に設定します。
L（フロント左）、C（センター）、R（フロント右）、LS（サラウンド左）、RS（サラウンド右）、SW（サブウーファー）の 6 つのスピーカーの設定を行います。

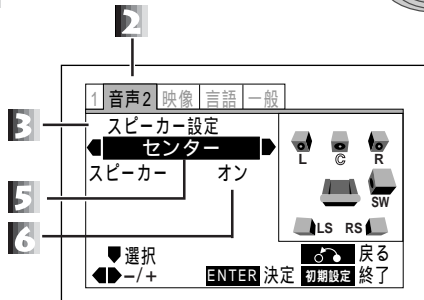
1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

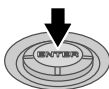
2 [音声2]を選びます

3 [スピーカー設定]を選びます

4 ENTERボタンを押します

5 スピーカーを選びます

下記のように設定項目が変わります。

➡ センター ➡ サブウーファー ➡ サラウンド

6 接続してあるか選びます

オン：接続してあるときに選択します（出荷時の設定）

オフ：接続していないとき選択します

7 3つの項目を設定したら、ENTERボタンを押します

お知らせ

- 設定するスピーカーは､画面上で文字が青い箇所です。
- 「オン」に設定すると、画面上でスピーカーの絵が黄色くなります。
- 「センター」と「サラウンド」両方とも「オフ」に設定すると「サブウーファー」は自動的に「オフ」になります。
- 「サブウーファー」を「オン」にすると、LFE（超低音の効果音）はサブウーファーから出力します。
- 「サブウーファー」を「オフ」にすると、LFE（超低音の効果音）はフロントスピーカーから出力します

テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビに接続しているときこの設定は不要です。DVD の映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率（一般にアスペクト比と呼ばれています）が横 16：縦 9 で記録されています。従って、DVD を従来サイズのテレビで見ると、映像が横 4：縦 3 となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いの場合は、この設定を行ってください。この設定は再生中に変更できません。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

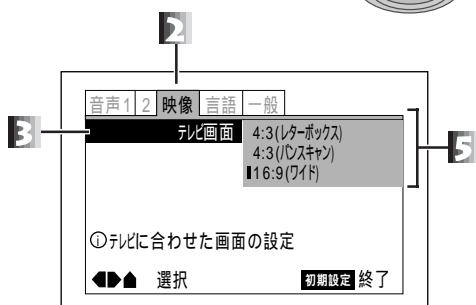
初期設定画面が表示されます。

2 [映像]を選びます

3 [テレビ画面]を選びます

4 右へ動かします

5 設定したい項目を選びます

6 ENTERボタンを押します

4:3（レターボックス）：従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式（次のページ）で見たいときに選択します。

4:3（パンスキャン）：従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式（次のページ）で見たいときに選択します。

16:9（ワイド）：ワイド（16:9）テレビと接続したとき選択します。（出荷時の設定）

7 初期設定ボタンを押します

お知らせ

・96kHz PCM 音声の入った 16:9 ディスクをレターボックスに変換して再生する場合は、音声のサンプリング周波数が強制的に 48kHz にダウンサンプリングされます。96kHzで音声を楽しむには、画面サイズをワイドに設定してください。
・アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

テレビにあわせて映像の縦横比を選ぶ

お知らせ

映像の見えかた

[従来サイズのテレビのとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9のディスク	**4:3(レターボックス)**	○ **上下に帯がつきますが正しく見えます**
	4:3(パンスキャン)	○ **画面の左右が切れますが正しく見えます** このように見たくない場合は、本機の設定を[4:3(レターボックス)]に切り換えてください。
	16:9(ワイド)	× **縦長に見えます** このように見える場合は、本機の設定を[4:3(レターボックス)]または[4:3(パンスキャン)]に切り換えてください。
4:3のディスク	**4:3(レターボックス)** **4:3(パンスキャン)** **16:9(ワイド)** **いずれの設定でも**	○ **正しく見えます**

[ワイドテレビのとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9のディスク	**16:9(ワイド)**	○ **正しく見えます** ディスクによっては上下に帯がつくことがあります。
4:3のディスク	**16:9(ワイド)**	○ **左右に帯がつきますが正しく見えます**
		× **横長に見えます** このように見える場合は、テレビ側の設定をノーマルに切り換えてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

映像の設定をする

静止画像を切り換える エキスパート

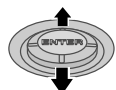
DVD を一時停止したときの画像のブレをなくし、画像を鮮明に見ることができます。

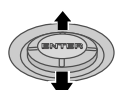
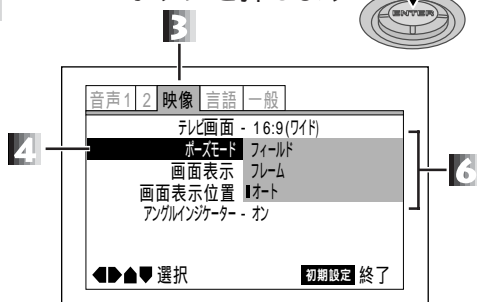
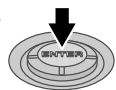
1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 「エキスパート」に切り換えます（49ページ）

3 [映像]を選びます

4 [ポーズモード]を選びます

5 右に動かします

6 設定したい項目を選びます

7 ENTERボタンを押します

フィールド：静止画状態のとき、画像のブレをなくします。
フレーム：通常モードです。
オート　：フィールドとフレームを自動的に切り換えます。（出荷時の設定）

8 初期設定ボタンを押します

お知らせ

・ディスクによっては「フィールド」を選択しても画質が鮮明にならない場合があります。

画面表示のオン／オフを切り換える エキスパート

「プレイ」「ストップ」など、本機を操作したときの表示をテレビ画面に表示させたくないとき設定を変更します。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 「エキスパート」に切り換えます（49ページ）

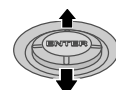
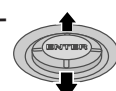
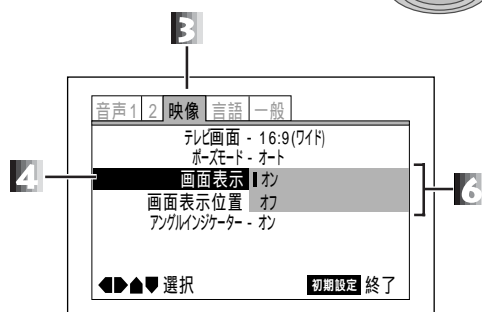
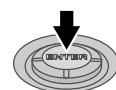
3 [映像]を選びます

4 [画面表示]を選びます

5 右へ動かします

6 設定したい項目を選びます

7 ENTERボタンを押します

3
音声1 2 映像 言語 一般
テレビ画面ー16:9(ワイド)
ポーズモードー オート
4
画面表示 オン
画面表示位置 オフ
アングルインジケーターー オン
6
選択
初期設定 終了

オン：画面表示をします。（出荷時の設定）
オフ：画面表示をしません。

8 初期設定ボタンを押します

CHAPTER 5 いろいろな設定

映像の設定をする

画面表示の位置を選択する エキスパート

本機が表示する初期設定画面などの表示位置をテレビの種類に合わせて設定します。DVDディスクの画面比率が4:3のときに設定します(詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください)。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

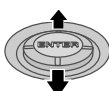
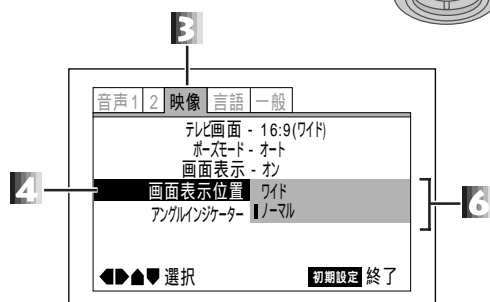
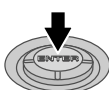
初期設定画面が表示されます。

2 「エキスパート」に切り換えます(49ページ)

3 [映像]を選びます

4 [画面表示位置]を選びます

5 右へ動かします

6 設定したい項目を選びます

7 ENTERボタンを押します

ワイド：ワイドテレビ側の設定でズームを選んでいるとき、画面表示が欠けるのを避けます。

ノーマル：ワイドテレビ側の設定でノーマルやフルを選んでいるとき、こちらを選択します。(出荷時の設定)

8 初期設定ボタンを押します

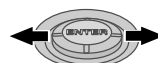
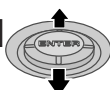
マーク表示をオン／オフする エキスパート

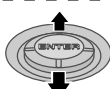
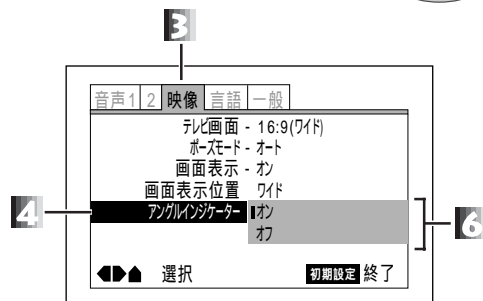
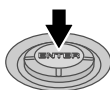
再生中に画面に表示される　マークを表示させたくないとき設定を変更します。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 「エキスパート」に切り換えます(49ページ)

3 [映像]を選びます

4 [アングルインジケーター]を選びます

5 右へ動かします

6 設定したい項目を選びます

7 ENTERボタンを押します

オン：画面に　マークを表示します。(出荷時の設定)

オフ：画面に　マークを表示しません。

8 初期設定ボタンを押します

言語の設定をする

DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、ユーザーが目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の［言語］にあるさまざまな「言語」と「字幕」に関する設定を行います。

画面表示言語を設定する

初期設定画面などを表示する言語を、英語に切り換えます。

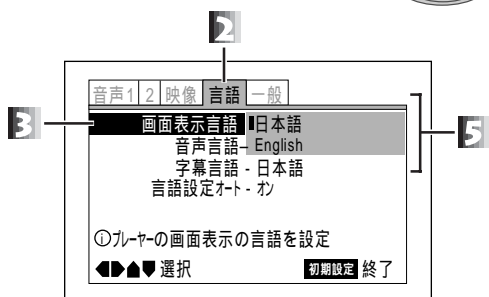
1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 ［言語］を選びます

3 ［画面表示言語］を選びます

4 右へ動かします

5 設定したい項目を選びます

6 ENTERボタンを押します

日本語　：画面表示の言語が日本語になります。
（出荷時の設定）
English：画面表示の言語が英語になります。

7 初期設定ボタンを押します

音声言語を設定する

音声言語を選びます。
この設定は再生中に変更できません。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

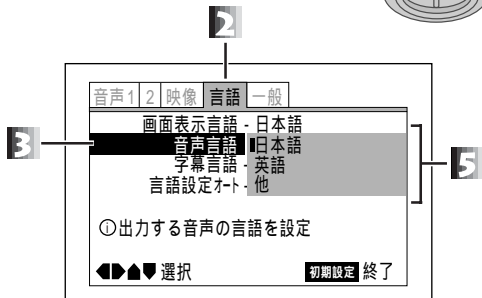
初期設定画面が表示されます。

2 ［言語］を選びます

3 ［音声言語］を選びます

4 右へ動かします

5 設定したい項目を選びます

6 ENTERボタンを押します

日本語：音声言語が日本語になります。
（出荷時の設定）
英語　：音声言語が英語になります。
他　　：136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは次のページの「字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で［他］を選んだとき」をご覧ください。

7 初期設定ボタンを押します

言語の設定をする

字幕言語を設定する

表示する字幕言語を選びます。
この設定は再生中に変更できません。

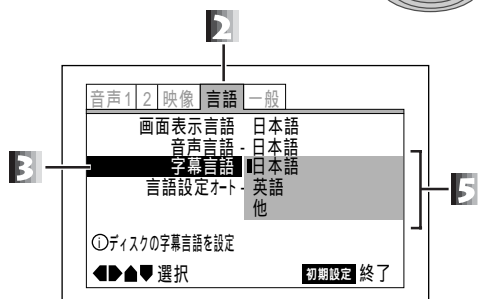
1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 [言語]を選びます

3 [字幕言語]を選びます

4 右へ動かします

5 設定したい項目を選びます

6 ENTERボタンを押します

日本語：日本語の字幕を表示します。
（出荷時の設定）
英語　：英語の字幕を表示します。
他　　：136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは右の段落の「字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で[他]を選んだとき」をご覧ください。

7 初期設定ボタンを押します

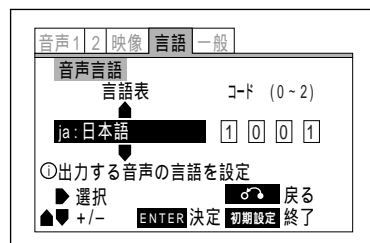
字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で［他］を選んだとき

右の言語コード表を見ながら操作します。

1 [他]を選びます

2 ENTERボタンを押します

言語選択画面が表示されます。

例）音声言語の場合

3 「言語表」または「コード」を選びます

（「コード」で言語を選ぶ方法）

（「フランス語」を選ぶ場合）
リモコンの**数字ボタン**の **0**、**6**、**1**、**8** を押します。

● 1ケタごとに**ジョイスティック**を上下に動かして数字を選択することもできます。**ジョイスティック**を左右に動かしてケタを移動します。
● コードの（　）の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

（「言語表」で言語を選ぶ方法）

（「フランス語」を選ぶ場合）
ジョイスティックを上に2回動かします。

4 ENTERボタンを押します

言語コード表

言語名(言語コード)	入力コード
Japanese (ja)	1001
English (en)	0514
French (fr)	0618
German (de)	0405
Italian (it)	0920
Spanish (es)	0519
Dutch (nl)	1412
Russian (ru)	1821
Chinese (zh)	2608
Korean (ko)	1115
Greek (el)	0512
Afar (aa)	0101
Abkhazian (ab)	0102
Afrikaans (af)	0106
Amharic (am)	0113
Arabic (ar)	0118
Assamese (as)	0119
Aymara (ay)	0125
Azerbaijani (az)	0126
Bashkir (ba)	0201
Byelorussian (be)	0205
Bulgarian (bg)	0207
Bihari (bh)	0208
Bislama (bi)	0209
Bengali (bn)	0214
Tibetan (bo)	0215
Breton (br)	0218
Catalan (ca)	0301
Corsican (co)	0315
Czech (cs)	0319
Welsh (cy)	0325
Danish (da)	0401
Bhutani (dz)	0426
Esperanto (eo)	0515
Estonian (et)	0520
Basque (eu)	0521
Persian (fa)	0601
Finnish (fi)	0609
Fiji (fj)	0610
Faroese (fo)	0615
Frisian (fy)	0625
Irish (ga)	0701
Scots-Gaelic (gd)	0704
Galician (gl)	0712
Guarani (gn)	0714
Gujarati (gu)	0721
Hausa (ha)	0801

言語名(言語コード)	入力コード
Hindi (hi)	0809
Croatian (hr)	0818
Hungarian (hu)	0821
Armenian (hy)	0825
Interlingua (ia)	0901
Interlingue (ie)	0905
Inupiak (ik)	0911
Indonesian (in)	0914
Icelandic (is)	0919
Hebrew (iw)	0923
Yiddish (ji)	1009
Javanese (jw)	1023
Georgian (ka)	1101
Kazakh (kk)	1111
Greenlandic (kl)	1112
Cambodian (km)	1113
Kannada (kn)	1114
Kashmiri (ks)	1119
Kurdish (ku)	1121
Kirghiz (ky)	1125
Latin (la)	1201
Lingala (ln)	1214
Laothian (lo)	1215
Lithuanian (lt)	1220
Latvian (lv)	1222
Malagasy (mg)	1307
Maori (mi)	1309
Macedonian (mk)	1311
Malayalam (ml)	1312
Mongolian (mn)	1314
Moldavian (mo)	1315
Marathi (mr)	1318
Malay (ms)	1319
Maltese (mt)	1320
Burmese (my)	1325
Nauru (na)	1401
Nepali (ne)	1405
Norwegian (no)	1415
Occitan (oc)	1503
Oromo (om)	1513
Oriya (or)	1518
Panjabi (pa)	1601
Polish (pl)	1612
Pashto, Pushto (ps)	1619
Portuguese (pt)	1620
Quechua (qu)	1721
Rhaeto-Romance (rm)	1813

言語名(言語コード)	入力コード
Kirundi (rn)	1814
Romanian (ro)	1815
Kinyarwanda (rw)	1823
Sanskrit (sa)	1901
Sindhi (sd)	1904
Sangho (sg)	1907
Serbo-Croatian (sh)	1908
Sinhalese (si)	1909
Slovak (sk)	1911
Slovenian (sl)	1912
Samoan (sm)	1913
Shona (sn)	1914
Somali (so)	1915
Albanian (sq)	1917
Serbian (sr)	1918
Siswati (ss)	1919
Sesotho (st)	1920
Sundanese (su)	1921
Swedish (sv)	1922
Swahili (sw)	1923
Tamil (ta)	2001
Telugu (te)	2005
Tajik (tg)	2007
Thai (th)	2008
Tigrinya (ti)	2009
Turkmen (tk)	2011
Tagalog (tl)	2012
Setswana (tn)	2014
Tonga (to)	2015
Turkish (tr)	2018
Tsonga (ts)	2019
Tatar (tt)	2020
Twi (tw)	2023
Ukrainian (uk)	2111
Urdu (ur)	2118
Uzbek (uz)	2126
Vietnamese (vi)	2209
Volapük (vo)	2215
Wolof (wo)	2315
Xhosa (xh)	2408
Yoruba (yo)	2515
Zulu (zu)	2621

＊言語表記はISO639:1988(E/F)に準拠(1999年9月現在)

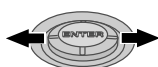
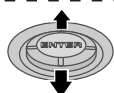
言語の設定をする

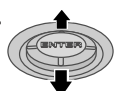
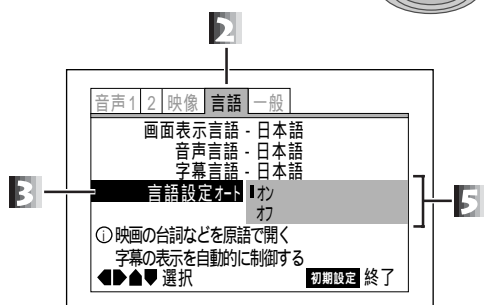
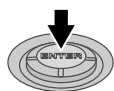
音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声／字幕にするかを選びます。
この設定は再生中に変更できません。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 ［言語］を選びます

3 ［言語設定オート］を選びます

4 右へ動かします

5 設定したい項目を選びます

6 ENTERボタンを押します

オン：［音声言語］と［字幕言語］が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります。一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語、字幕はオフになります。（出荷時の設定）

オフ：再生中の音声のオート設定が解除され、［音声言語］と［字幕言語］で設定している音声と字幕になります。

7 初期設定ボタンを押します

DVDのメニュー言語を設定する エキスパート

DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。
この設定は再生中に設定できません。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 「エキスパート」に切り換えます（49ページ）

3 ［言語］を選びます

4 ［DVD言語］を選びます

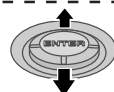
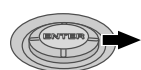
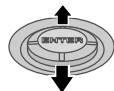
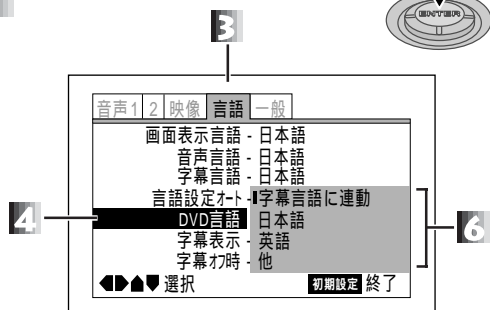
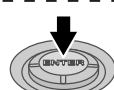
5 右へ動かします

6 設定したい項目を選びます

7 ENTERボタンを押します

3

音声1	2	映像	言語	一般

画面表示言語－日本語
音声言語－日本語
字幕言語－日本語
言語設定オート－字幕言語に連動
4 DVD言語 日本語
字幕表示－英語
字幕オフ時－他
6
選択 初期設定 終了

字幕言語に連動：［字幕言語］で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。（出荷時の設定）
日本語　：日本語でメニュー画面が表示されます。
英語　：英語でメニュー画面が表示されます。
他　：136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは62ページの「字幕言語／音声言語／DVD言語の設定で［他］を選んだとき」をご覧ください。

7 初期設定ボタンを押します

お知らせ

・DVDに収録されていない言語を設定した場合、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

字幕表示をオン／オフする エキスパート

字幕を表示するかしないか、または「アシスト字幕」を表示するかを選びます。
この設定は再生中に変更できません。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

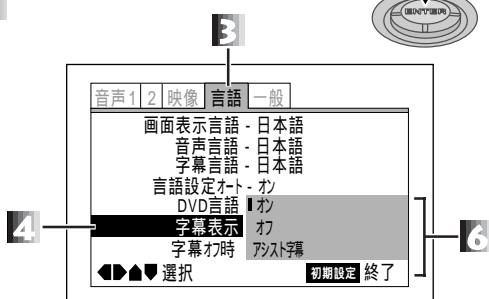
2 「エキスパート」に切り換えます（49ページ）

3 ［言語］を選びます

4 ［字幕表示］を選びます

5 右へ動かします

6 設定したい項目を選びます

7 ENTERボタンを押します

オン　：字幕を表示します。（出荷時の設定）

オフ　：字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります（右の段落）。

アシスト字幕：「アシスト字幕」は例えば、耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

7 初期設定ボタンを押します

強制的に表示される字幕の言語を設定する エキスパート

DVDの中には、字幕表示を「オフ」にしても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。
この設定は再生中に変更できません。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

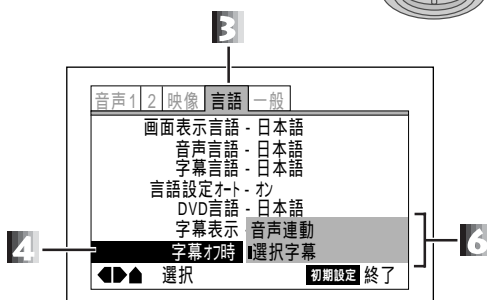
2 「エキスパート」に切り換えます（49ページ）

3 ［言語］を選びます

4 ［字幕オフ時］を選びます

5 右へ動かします

6 設定したい項目を選びます

7 ENTERボタンを押します

音声連動：再生されている音声の言語で字幕を表示します。

選択字幕：初期設定画面の［字幕言語］で選択されている言語で字幕を表示します。（出荷時の設定）

8 初期設定ボタンを押します

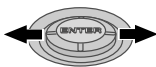
一般の設定をする

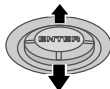
スクリーンセーバーを設定する エキスパート

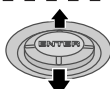
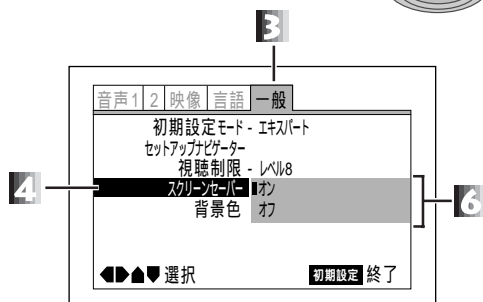
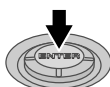
スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象）を防ぐための機能です。

1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 「エキスパート」に切り換えます(49ページ)

3 [一般]を選びます

4 [スクリーンセーバー]を選びます

5 右へ動かします

6 設定したい項目を選びます

7 ENTERボタンを押します

オン： スクリーンセーバー機能が働きます。(出荷時の設定)

オフ： スクリーンセーバー機能が働きません。

8 初期設定ボタンを押します

背景色を選ぶ エキスパート

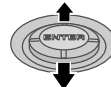
ディスクが停止しているときの画面の色を選びます。

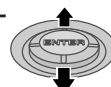
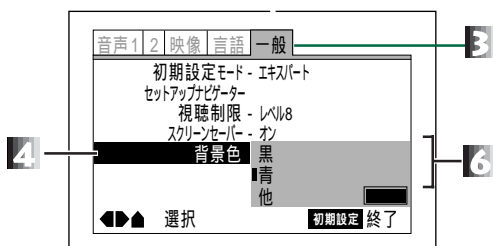
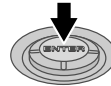
1 リモコンの初期設定ボタンを押します

初期設定画面が表示されます。

2 「エキスパート」に切り換えます(49ページ)

3 [一般]を選びます

4 [背景色]を選びます

5 右へ動かします

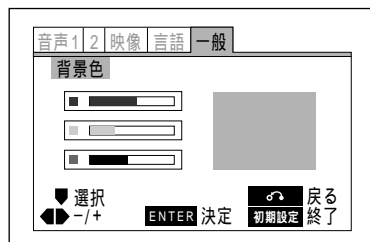
6 設定したい項目を選びます

7 ENTERボタンを押します

黒：黒色の背景色を表示します。

青：青色の背景色を表示します。(出荷時の設定)

他：お好みの背景色を設定できます。

「他」を選んだとき

下の画面で色合いを調整し、**ENTER ボタン**を押します。

8 初期設定ボタンを押します

よく変更する初期設定の項目を記憶する（ファンクションメモリー）

初期設定の項目をすぐに呼び出すのに便利です。5 項目まで記憶させることができます。

記憶のしかた

1 初期設定ボタンを押します

2 記憶したい項目を選びます

3 ファンクションメモリーボタンを押します

記憶されると、項目の左側に"FM"が表示されます。

4 手順2～3を繰り返します

5 つまで記憶することができます。

5 初期設定ボタンを押します

呼び出しかた

1 初期設定画面が出てない状態でファンクションメモリーボタンを押します

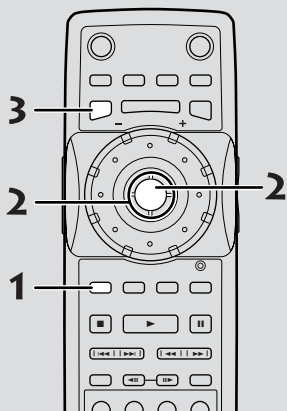
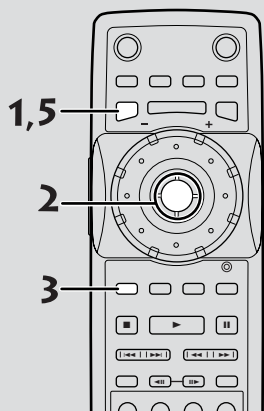
項目のリストを表示します。

2 項目を選び、ENTERボタンを押します

初期設定画面が表示されます。この画面で設定や変更ができます。

3 初期設定ボタンを押します

記憶した内容を消すには

1 初期設定ボタンを押します。
2 消したい項目を選びます。
3 ファンクションメモリーボタンを押します。
項目の左側の"FM"表示が消えます。
4 初期設定ボタンを押します。

お知らせ

- 5 項目を越えて記憶させようとすると、画面にメッセージまたは🚫が表示されます。その場合は、記憶した内容を消してから記憶してください。
- ディスク再生中に設定できない項目（灰色表示の項目）を記憶することはできません。このとき画面にメッセージまたは🚫が表示されます。

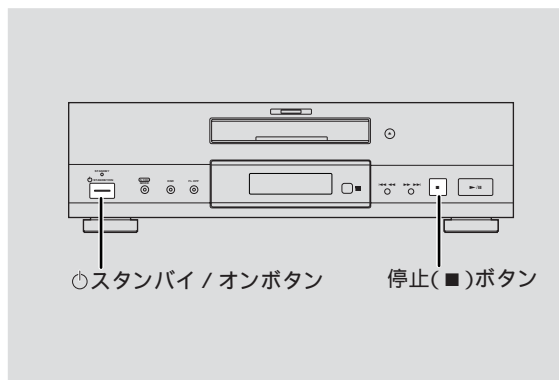
すべての設定を出荷時に戻す

すべての設定内容を出荷時の状態に戻します。

この操作を行うと、ラストメモリー（39 ページ）、コンディションメモリー（40 ページ）やプログラムメモリー（38 ページ）など記憶していたすべてのメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

1 電源が待機状態（スタンバイ状態）のとき、停止（■）ボタンを押しながら、本体の⏻スタンバイ／オンボタンを押します

すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。

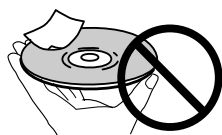
CHAPTER 6 その他

使用上の注意

ディスクの取り扱いかた

■ 取り扱いかた

両手で持つ場合

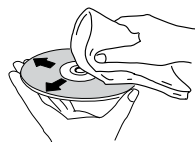
片手で持つ場合

- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールを貼り付けないでください。
- のりなどがはみ出した場合、故障の原因になります。特に、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してから、ご使用ください。

■ 保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、音質や画質が低下することがあります。柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭いてください(円周に沿って拭かないでください)。

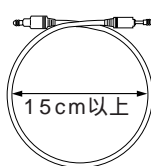
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。またレコードスプレー、帯電防止剤などはご使用できません。
- ディスクの清掃には別売りのディスククリーニングセット(JV-D11)の使用をおすすめします。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

■ 特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れることがあります。このような場合は「保証とアフターサービス」(73ページ)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがありますのでご使用にならないでください。

光ファイバーケーブル(別売り)取り扱い上のご注意

- 急な角度に折り曲げないでください。保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。
- 接続の際はしっかり奥まで差し込んでください。
- 長さは3m以下のものを使用してください。
- プラグに傷やほこりが付着したときは、柔らかい布で拭いてから接続してください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

困ったとき！？

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AVアンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。

電源が入らない
➡電源コードをコンセントに正しく接続してください（14、15ページ）。

ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう
➡ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください（23ページ）。
➡ディスクをクリーニングしてください(69ページ)。
➡リージョン No.が一致しているか確認してください(6、72ページ)。

画面が映らない
➡本体後面の映像出力切換スイッチの設定を、接続している映像端子と合わせてください(11、14、18ページ)。
➡接続が正しいか確認してください(18ページ)。
➡テレビまたはAVアンプなどの設定を、DVD再生の設定にしてください。

再生できない
➡ディスクをクリーニングしてください(69ページ)。
➡ディスクをディスクテーブルに正しくセットしてください（23ページ）。
➡本機の内部の結露を除去してください(69ページ)。
➡PAL方式やSECAM方式のディスクは再生できません。
➡ディスクを表裏正しくいれてください。

設定内容が消える
➡電源が入っているときに、停電や電源コードが抜かれて電源が切れてしまったときは、設定内容が消えてしまいます。電源コードは必ず本体の ⏻ スタンバイ／オンボタン、またはリモコンの電源ボタンを押して、表示窓の「-OFF-」表示が消えてから、抜いてください。

画面が止まり、操作ボタンを受け付けない
➡停止(■)ボタンを押してから、もう一度再生してください。

マークが画面に出る
➡ディスクがその操作を禁止しています(6ページ)。

マークが画面に出る
➡プレーヤーがその操作を禁止しています(6ページ)。

セットアップ中にDVDマークが画面に出る
➡CDやビデオCDが入っているとき、DVDでしか働かない項目を設定しようとしている(48ページ)。

リモコンで操作できない
➡本体後面のコントロール入力端子が接続されてるときは、その機器のリモコン受光部に向けて操作してください(11ページ)。
➡リモコンの使用範囲で操作してください(8ページ)。
➡リモコンの電池を新しいものと交換してください(8ページ)。

スピーカーから音が出ない、音が歪む
➡音声ケーブルが正しく接続されているか確認してください(14〜17ページ)。
➡ディスクによっては、リニアPCM音声の96kHzデジタル出力を禁止しているものがあります。このようなディスクでは、初期設定画面の[音声1]の[96kHz PCM出力]の設定を「96kHz」にしていても、自動的に48kHzに変換して出力します。(51ページ)。
➡96kHz、レターボックスで記録されたDVDを再生中、[映像1]の[4:3(Letter Box)]を選択していると、[音声1]の[96kHz PCM出力]の設定を[96kHz]にしていても、自動的に48kHzに変換して出力します(51ページ)。
➡[音声出力]の設定(55ページ)により、音が出ない場合があります。詳しくは、20ページをご覧ください。
➡ディスクをクリーニングしてください(69ページ)。
➡一時停止またはスロー再生になっていたら再生にしてください(32ページ)。
➡テレビまたはAVアンプなどの音量が「最小」になっている場合はボリュームを上げてください。
➡接続プラグの差し込み方が不十分、または外れていないか確認してください。
➡接続プラグや端子が汚れていたら拭いてください。

画面が縦または横に伸びている
➡[テレビ画面]の設定を合わせてください(57ページ)。

DVDとCDで音量差を感じる
➡これはディスクの記録方式の違いによるものです。

DVD再生中に画像が乱れる、または暗い
➡本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクを再生した場合、一部画像に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません(14、18ページ)。

DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる
➡本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません(14、18ページ)。

テレビなどが誤動作する
➡ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。

初期設定画面を出したとき、レターボックスに設定していた画面が突然、縦長になる
➡レターボックスまたはパンスキャンで再生中に初期設定画面を出すと、画面サイズが強制的にワイドに変換されますが、故障ではありません。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4：3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

コンポーネント映像出力
Y/CB/CRの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル(大小)が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
歪みなく信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル(dB)を使います。

ドルビーデジタル
ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。

DOLBY DIGITAL

本機はドルビーデジタルデコーダーを搭載していますので、5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプにつなぐことで、すぐにドルビーデジタルを楽しむことができます。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高／標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい視点で映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョン No.

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号（リージョンNo.）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

リニア PCM

DVDの音声記録方式の1つです。CDの音声と同じ方式ですが、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

DTS

Digital Theater Systemsの略です。DTSはドルビーデジタルと異なるサラウンドシステムの1つです。

本機はDTSデコーダーを搭載していますので、5.1チャンネルアナログ音声入力端子のあるAVアンプにつなぐことで、すぐにDTSディスクを楽しむことができます。

F-Disc（エフディスク）

8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：(株)フジカラーサービス
コンシューマーフォト部
電話：03-5571-5333

GUI

Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDの映像やビデオCDの映像/音声は、この方式で記録されています。DVDの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

PCM

Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CDのデジタル音声がPCMです。

S2 映像出力

S2とは映像のアスペクト比（4:3、16:9）と画像信号形態（レターボックス、パンスキャン）の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

5.1ch

フロント左/右、センター、リア左/右の5チャンネルに低音域専用の0.1チャンネルを加えたマルチチャンネル音声のことです。ドルビーデジタルやDTSといったサラウンドシステムで採用されています。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談は

お買い上げの販売店、または最寄りの当社サービスステーションをご利用ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるときは

70ページに従って調べていただき、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

連絡していただきたい内容について

- 品名　DVD プレーヤー
- 型番　DV-S6D
- お買上げ日
- 故障の状況 「できるだけ具体的に」
  「ディスクのタイトル」
- ご住所 「付近の目印も合わせてお知らせください」
- お名前
- 電話番号
- 訪問ご希望日

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

仕様

形式
DVD、ビデオCD、コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

電源 .... AC 100 V、 50/60 Hz
消費電力 .... 16 W
0.5 W(スタンバイ時)
本体質量 .... 6.4 kg
外形寸法 .... 420(幅)×371(奥行)×128(高さ)mm
(突起部含まず)
許容動作温度 .... ＋5℃～＋35℃
許容動作湿度 .... 5%～85%(結露のないこと)

S2映像出力(2系統)
Y出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
C出力レベル .... 286 mVp-p(75Ω)
出力端子 .... S端子

映像出力(2系統)
出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
出力端子 .... RCA端子

コンポーネント映像出力
(Y/CB/CR)
Y出力レベル .... 1 Vp-p(75Ω)
CB/CR出力レベル .... 0.7 Vp-p(75Ω)
出力端子 .... RCA端子

音声出力(2CH)
音声出力レベル .... 200 mVrms(1kHz、－20dB)
チャンネル数 2
出力端子 .... RCA端子

音声出力(5.1CH)
音声出力レベル .... 200 mVrms(1kHz、－20dB)
チャンネル数 6
出力端子 .... RCA端子

デジタル音声出力特性
周波数特性 .... 4 Hz～44 kHz(DVD、96 kHz)
S/N比 .... 115 dB
ダイナミックレンジ .... 106 dB
全高調波歪率 .... 0.0018 %
ワウ・フラッター .... 測定限界以下
(±0.001%W.PEAK)(EIAJ)

デジタル出力
光デジタル出力 .... 光デジタル端子
同軸デジタル出力 .... RCA端子

その他の端子
コントロール入力／出力 .... ミニジャック(3.5 φ)

付属品
リモートコントロールユニット 1
単3形(R6P)乾電池 2
音声ケーブル 1
映像ケーブル 1
電源コード 1
取扱説明書、保証書、安全上のご注意、
ご相談窓口・修理窓口のご案内 各1

● 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

初期設定画面の項目別さくいん

初期設定画面では、さまざまな設定を行うことができます。項目名や選択肢からではどんな設定を行うのか分からないとき、本書で説明しているページを、このさくいんで知ることができます。

▮は出荷時の設定を表わします。

（網掛け）は「エキスパート」時に表示される設定項目です。

さくいん

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

わ行

アルファベット

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

お客様相談センター

- ● ｶｰｽﾃﾚｵ／ｶｰﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ製品に関するお問合せ窓口 フリーフォン 0070-800-818111
- ● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞﾃﾞｵ製品に関するお問合せ窓口 フリーフォン 0070-800-818122
- ● カタログのご請求に関する窓口 フリーフォン 0070-800-818133

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか

・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社サービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

お客様メモ

● おぼえのため記入されますと便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くのご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年　月　日	型番	DV-S6D

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

パイオニア株式会社　〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<99H00ZF0D01>　<VRA1164-A>